

第九十回帝國議會 院 所得稅法の一部を改正する等の法律案外二件委員會會議錄(速記)第七回

付託議案

所得稅法の一部を改正する等の法律案(政府提出)
臨時租稅措置法を改正する法律案(政府提出)

地方稅法及び地方分與稅法の一部を改正する法律案(政府提出)

昭和二十一年八月十日(土曜日)午前十時十六分開議

出席委員
委員長 苦米地義三君

理事 殿田 孝次君 理事 中野 武雄君
理事 深津 玉一郎君 理事 八木 佐太君
理事 松永 義雄君 理事 山崎 常吉君
理事 今井 耕君

小川 原政信君 坂本 實君
田中 實司君 寺尾 豐君
江川 爲信君 川島 金次君
神原 千代君 玉井 潤次君
米山 久君 太田 鐵太郎君
橋本 二郎君 原尻 東君
增井 慶太郎君 布 利秋君

出席國務大臣

內務大臣 大村 清一君
國務大臣 植原 悅二郎君
大藏大臣 石橋 湛山君

出席政府委員

內務事務官 郡 祐一君
內務事務官 荻田 保君
大藏政務次官 上塚 司君
大藏事務官 池田 勇人君

專賣局長官 杉山 昌作君
大藏事務官 前尾 繁三郎君
農林事務官 坂田 英一君

本日ノ會議ニ付シテ議案
所得稅法の一部を改正する等の法律案(政府提出)
臨時租稅措置法を改正する法律案(政府提出)

地方稅法及び地方分與稅法の一部を改正する法律案(政府提出)

○苦米地委員長 開會致シマス、質疑ヲ續行致シマシテ、八木 佐太治君

○八木委員 政府委員ニ第一點トシテ御尋ネシタイコトハ、今日通貨ガ五百億以上既ニ六百億近ク流出シテ居ルコト云フコトニナツテ居リマスガ、先ヅ此ノ通貨ガ何處ニ偏在シテ居ルカト云フコトヲ御尋ネシタイノデアリマス、今日我々ガ政府カラ制限サレテ居ル家庭ノ生活費ト云フモノハ、世帯主三百圓、アト百圓デ、假リニ五人家族ト致シマス、七百圓ニ於テ一箇月ノ生活ヲ經營シナケレバナラヌコトニナツテ居リマス、サウ致シマス、日本ノ國民全般ノ金ガドレ位ニナツテ居ルカト云フト、假ニ日本ノ總人口ヲ七千萬トシテ、五人ヲ一家族ト致シマスナラバ千四百萬戶ニナルデアリマ

ス、此ノ千四百萬戶ニ七百圓ヲ掛ケマス、九十八億圓、約百億圓ノ家庭生活費ト云フコトニナルデアリマスガ、此ノ六百億圓ニ近イ通貨ガ何レノ方面ニ偏在シテ居ルカト云フコトヲ先ヅ第一點ニ御尋ネシタイノデアリマス

○池田(勇)政府委員 通貨ハ三月ノ新圓引換以後毎月増加ノ趨勢ヲ辿リマシテ、御話ノ通り八月一日ニハ五百億ヲ突破スル狀況ニナリマシタ、此ノ五百億ノ新通貨ガ何レノ方面ニ滯留シテ居ルカト云フコトハ、只今日日本銀行等ヲシテ調査致サセテ居リマスガ、確トシテ數字ハ分リマセヌ、大體農村漁村方面ニ相當行ツテ居ルノデハナイカト云フ想像ハ付クノデゴザイマスガ、ハツキリシタ數字ハ持合ハセテ居リマセヌ

○八木委員 私ハ此ノ點ヲ御尋ネシタイノデアリマスガ、眞面目ナ國民ハ七百圓ノ金ヲ窮屈ナ經濟ヲ保ツテ行キ、一方新圓ヲ多ク獲得シタル人ハ自由ナ立場ニ於テ贅澤ナル暮シヲシテ居ル、サウスルト眞面目ナ者ハ家ノ財産ヲ賣リ飛バシテデモ食ツテ行カナケレバナラヌ非常ナ苦痛ナ立場ニ置カレ、場合ニ依ツテハ此ノ新圓ヲ此ノ儘ニシテ置クコト云フト、茲ニ財産稅ニ依ツテ、豫テ度々ノ御答辯ノ通

リ、若シ稅務署ニ於テ競買スルト云フ場合ニ於テハ、眞面目ナ者ハ物納ニ於テ財産稅ヲ取ラレ、又惡德ト言フト口廣イヤウデアリマスケレドモ、新圓ヲ獲得シテ居ル者ハ之ニ依ツテ競買ニ附シタモノヲ買取ルト云ツタヤウニシテ、眞面目ナ者ト惡イ者トガ丁度交代ニナリマス、仍テ私ハ此ノ際ニ其ノ新圓ヲ何トカシテ財産稅ヲ賦課スル前ニ回收スル方法ハナイカ、サウシテ置カナケレバ今五百億以上ノ金ガ偏在シテ居ルノガドウ云フ風ニ流レルカト云フコトニナリマス、私ハ茲ニ惡イコトガ起キハシナイカト思フノデアリマス、仍テ國民ニハ須ラク平等ノ生活ヲ與ヘルヤウニ政府ハ之ヲ行ハネバナラヌ、今日ノヤウナコトヲシテ此ノ儘ニシテ置クコト云フコトハ、國民ノ生活ノ不平等ヲ其ノ儘ニ見テ置クコト云フヤウナコトニナルノデアリマス、政府ハ國民ノ生活ヲ平等化サセルコト云フコトガ第一ノ要點デハナカラウカト思フノデアリマスガ、此ノ點ニ付テ先ヅ新圓ヲ回收スルノニ如何ナル方法ヲ御持チニナツテ居ルカ御尋ネ致シマス

○池田(勇)政府委員 只今ノ制度デハ封鎖預金ノ引出シハ一人百圓ニ制限致シテ居リマス、隨ヒマシテ五人家族ノ人ハ五百圓引出シ得ラレマス、併シ俸給生活者等ニ於キマシテハ、俸給ノ五百圓マデハ新圓デ出スコトニ相成ツテ居リマスカラ、家族五人ノ俸給生活者ハ千圓ノ新圓ヲ得ルコトニナリマス、又一面農業或ハ物品販賣業等營業者ニ付キマシテハ封鎖預金ノ引出シヲ認メテ居リマセヌ、是ハ五月一日カラサウ云フ風ニ改メマシテ、新圓ノ入ツテ來ル方面ニハ生活資金トシテ引出シハ認メマセヌ、隨ヒマシテ建前トシテハ、國民ガ一定額以下ノ新圓デ生活スル建前ヲ取ツテ居リマス、唯問題ハ、農業其ノ他商業ノ方々ハ商品ヲ賣リマシテ、所謂俸給生活者ノ制限以上ニ新圓ガ入ツテ來ル場合ガアルノデアリマス、其ノ制限以上ノ新圓ガ滯留シテ居ルコトヲ思フノデゴザイマス、而シテ之ヲ一戸當リニ致シマス、新圓ハ大シタモノデハナイ、唯一戸當リデハナシニ、特殊ノ人ガ非常ニ澤山ノ新圓ヲ持ツテ居ルコト云フコトハ考ヘ得ラレマス、隨ヒマシテ財産稅施行後、物納ニナリマシタ資産ヲ政府ガ競賣致シマシタ場合ニ、特殊ノ新圓ヲ澤山持ツテ居ル方ガ競賣スル、買受ケルト云フコトハ、事實上アリ得ルカモ分リマセヌガ、政府ト致シマシテハ、斯カル場合ニ

新園ノ出所ヲ探求スルトカ、又サウ云フ新園ヲ澤山得ラタ人ニハ昭和二十二年分ノ所得稅ヲ十分賦課シ得ルト思ヒマスルカラ、御懸念ノヤウナ弊害ハ餘リ起ラナイデハナイカト考ヘテ居リマス、又サウ云フ場合ニ、面白カラザル方面ニ財産ノ移リ變ルト云フコトハ、政府ト致シマシテモ相當注意シナケレバ相成ラヌト考ヘテ居リマス、最後ニ新園ノ吸收策如何ト云フ問題デゴザイマスガ、政府ハ此ノ點ニ付キマシテ苦慮致シテ居リマス、併シ何ト申シマシテモ、通貨ノ信用、國民經濟ガ本當ニ確固タル信用經濟ノ上ニ立タナケレバ、中々新園ノ吸收ト云フモノハ、言フベクシテ實效ガ舉リマセヌ、隨ヒマシテ政府ハ出來ルダケ早イ機會ニ、財界整理等諸般ノ信用恢復、通貨ノ安定ニ向ツテ凡ユル施策ヲ致スベク、今計畫ヲ致シテ居ルノデゴザイマス、此ノ計畫ガ實施サレマシタナラハ、新園ノ吸收モ案外圓滑ニ行クノデナイカト考ヘテ居リマス

タナラバ再ビ封鎖サレナイカト云フ懸念ヲ持ツテ預金ヲシナイ人モ相當ニアルヤウニ思フノデアリマス、ソレカラモウ一ツハ言葉尻ヲ拾ツテ言フノデアリマセヌケレドモ、四人ノ人ニハ四百圓ト、ソレカラ世帯主ニ三百圓、此ノ金ヲ貰ツテ七百圓ノ合計ヲ持ツト云フコトヲ申上ゲマシタ所ガ、俸給生活者デアル場合ニハ千圓幾ラト云フコトニナツテ居リマスルガ、戰災者ニ於テ家ガ焼カレ、地代ガ入ラズ、家賃ハ入ラズシテカラニ、何等得ル所ノナイ、唯七百圓ノミデ暮スト云フヤウナ點ガ相當アルノデアリマス、サウ云フ點ヲ、ダカシ收入ガアルカラト云ツダヤウナコトデ御安心ナサラナイデ、サウ云フ人モ往々アルト云フコトヲ御考ヘニナツテ御考慮願ヒタイト思フノデアリマス、ソレト今申上ゲマシタヤウニ、新園ノ回收スルニハ、先ツ第一ニ銀行ニ預ケテ置クナラバ、自由貯金ハ再ビ封鎖シシナイト云フコトヲ政府ガ明カニシテ戴クナラバ、自由貯金ヲ治安不安ノ上カラモ預ケル人ガ多イノデハナイカト思フノデアリマス、其ノ點ハ如何デスカ

○八木委員 色々新園ノ回收ニ付テ御考慮ニナツテ居ルコトヲ承リマシテ先ツ私ハ諒解スルノデアリマスルガ、私ノ思ヒマスルノニ、斯クモ六百億圓ニ近い通貨ガ流出シテ居ルト云フコトハ、此ノ治安ノ不安ノ折ニ總テガ銀行預金ヲシナイデ、自己ノ家ニ之ヲ持ツテ居ルト云フコトハ、即チ銀行ニ預ケ

タナラバ再ビ封鎖サレナイカト云フ懸念ヲ持ツテ預金ヲシナイ人モ相當ニアルヤウニ思フノデアリマス、ソレカラモウ一ツハ言葉尻ヲ拾ツテ言フノデアリマセヌケレドモ、四人ノ人ニハ四百圓ト、ソレカラ世帯主ニ三百圓、此ノ金ヲ貰ツテ七百圓ノ合計ヲ持ツト云フコトヲ申上ゲマシタ所ガ、俸給生活者デアル場合ニハ千圓幾ラト云フコトニナツテ居リマスルガ、戰災者ニ於テ家ガ焼カレ、地代ガ入ラズ、家賃ハ入ラズシテカラニ、何等得ル所ノナイ、唯七百圓ノミデ暮スト云フヤウナ點ガ相當アルノデアリマス、サウ云フ點ヲ、ダカシ收入ガアルカラト云ツダヤウナコトデ御安心ナサラナイデ、サウ云フ人モ往々アルト云フコトヲ御考ヘニナツテ御考慮願ヒタイト思フノデアリマス、ソレト今申上ゲマシタヤウニ、新園ノ回收スルニハ、先ツ第一ニ銀行ニ預ケテ置クナラバ、自由貯金ハ再ビ封鎖シシナイト云フコトヲ政府ガ明カニシテ戴クナラバ、自由貯金ヲ治安不安ノ上カラモ預ケル人ガ多イノデハナイカト思フノデアリマス、其ノ點ハ如何デスカ

○池田(勇)政府委員 政府ハ新園ヲ再ビ封鎖スルコトハ考ヘテ居リマセヌ

○八木委員 次ニ家屋稅ノ問題デアリマスガ、家屋稅ヲ二・五ノモノヲ三・五ニ引上ゲラレタト云フ點ニ於キマシテハ、今日ノ家屋ヲ幾ラニ賃貸價格ヲ御見ミナツテ居ルカト云フコトガ第一點ニ御聽キシタイ、是ハ物價ガ非常ニ騰貴シテ居リマシテ、過去ノ建築費トハ相當ニ價格ガ上ツテ居ルノデアリマス、ソレニ對シテ隨テ賃貸價格モ上ゲナケレバナラヌノデアリマスガ、賃貸價格ヲ上ゲルニ付テハ、先ツ家賃ヲ上ゲテヤル、家賃ヲ上ゲルナラバ、ソレニ依ツテ即チ稅率ガ變ツテ來ルノデアリマス、現在ノ僅ノ釘付ケノ家賃ニ於テ二・五ヲ三・五ニ引上ゲルヨリモ、寧ろ基本ノ家賃ヲ上ゲルコトニシテヤツクナラバ、稅率ノ一ノ増加ヨリモ收入ガ殖エルノデヤナイカト思フノデアリマスガ、現在ノ家屋ノ賃貸價格ヲ何レニ御見ミナルノカ、又戰災ニ依ツテ、又疎開ニ依ツテ失ツタ日本全國ノ家屋ガドレ程ニアツテ、一ノ増加ニ依ツテドレ位ニ家屋稅ガ上ルモノカ、唯率ヲ上ゲタケデハ、私ハ減ツタ家屋ニ對シテ補ヒガ付カナイト思フノデアリマスガ、其ノ點ヲ御聽カセ願ヒタイト思ヒマス

○池田(勇)政府委員 家屋稅ハ昭和十五年七月一日現在ノ家屋ニ付キマシテ賃貸價格ヲ調査致シマシテ、十七年一月一日現在ノ賃貸價格ト致シマシテ、其ノ賃貸價格ニ所定ノ稅率ヲ乘ジテ家屋稅ヲ納稅スルコトニ相成ツテ居リマス、此ノ家屋ノ賃貸價格ハ五年毎ニ一回改メルコトニ致シテ居ルノデアリマシテ、其ノ改メマスマデハ其ノ公定ノ賃貸價格ニ基イテ徵收スルコトニ相成ツテ居リマス、現今ノ家屋拂底狀況カラ申シマシテ、家屋稅ハモウ少引上ゲル餘地ガアルノデハナイカト云フ御意見デアリマスガ、公定ノ賃貸價格ニ所定ノ稅率ヲ乘ズルコトニ相成ツテ居リマスノデ、此ノ賃貸價格ヲ改メザル限り増徴ハ難カシイノデアリマス、隨ヒマシテ今回ノ稅率ノ引上方ハ地租、營業稅ヨリモモツト多ク致シマシテ、昨年マデハ賃貸價格ニ付キマシテ附加稅ヲ添ヘテ百分ノ十二相成ツテ居リマスガ、今回ノ稅率引上竝ニ附加稅ノ引上ニ依リマシテ百分ノ二十一ニ相成ツテ居ルノデゴザイマス、即チ昨年ヨリモ本年ハ倍以上ノ負擔ノ増加ニ相成ツテ居ル、併シ是ハコ、三、四年ノ中ニ新タニ賃貸價格ヲ調査致シマシテ、適正ノ課稅ガ出來ルト考ヘテ居リマス

○八木委員 經營者カラ申シマス、現在ノ家賃ニ於テ稅率ハ今言ハレタ如クニ負擔ハ多クナル、サウシテ家賃ハ其ノ儘ニ釘付ケニサレテ居ルト云フコトハ、戰災ニ遭ツテ家ヲ失ヒ僅カバカリ殘ツテ居ル其ノ人等ガ、其ノ家賃ニ於テ生活困難ノ狀態モ多數ニアルノデアリマスシ、ソレハホンノ一部分デアリマスケレドモ、今日ノ物價情勢カラ見マシテモ、今新築シツ、

アル家カラ見マシテモ、現在ノ燒殘ツタ家ト申シマセウカ、古イ家ニ對シテハ相當家賃ノ値上ヲシテヤル必要ガアリハシナイカト思フノデアリマス、之ヲ今以テ釘付ケニナツタ家賃ヲ固持シテ居ルト云フコトハ、實ニ家主經營ニ對シテ氣ノ毒ニ思フノデアリマスガ、家賃ノ値上スルコトニ付テ御意思ガアルヤ否ヤヲ御尋ネシマス

○池田(勇)政府委員 適正ナ家賃ヲ定メルベク物價局ハ先般カラ家賃ノ限界價格ヲ研究致シテ居リマシテ、マダ發表ハ致シテ居ナイト私考ヘテ居リマスガ、何レ適正家賃ニ付キマシテモ政府ノ認メル所ヲ發表スルコトト考ヘテ居リマス

○八木委員 稅ノ方ノ問題ハ是デ止メテ置キマシテ、今度ハ地方局長ニ御尋ネシタイト思ヒマス、地方局長ニ御尋ネセントスル所ハ、五大都市ガ特別市制ヲ要望シテ、曾テハ陳情ニ來、尙ホ今度ハ建議案ヲ出スコトニナツテ居リマスガ、此ノ都市ガ獨立サレタ時ニ於キマシテ其ノ殘存シタ所ノ經濟、又ハ特別市制實施ニ於テ其ノ地歩ト云フヤウナ點ニ付テ御知ラセ願ヒタイノデアリマス

○郡政府委員 五大都市ノ特別市制ハ從來カラ問題ニナツテ居リマシタガ、終戰後所謂五大都市ノ模様ガ可ナリ變化致シテ參ツテ居リマス、ソレカラ一方ニ於キマシテ此ノ度ノ地方制度ノ改正デ、監督

物價部ニ依ツテ配布致シマシタ飲料食料金ノ最高價格ハ、三十圓ニ相成ツテ居リマス、然ル所飲食税ノ

飲食料金ノ免稅點ヲ三十圓ニ致シ
マスト、飲食ニ對シマス遊興飲食
稅ヲ撤廢シタト同様ノ結果ニ相成
リマス、三十圓ノ飲食料金ガ最高
デアルナラバ、只今ノ十圓ノ免稅

○八木委員 私ノ質問ハ是デ終リマス

○苦米地委員長 榊原千代君

○榊原委員 煙草セ鹽ノ收入ハド

ノ位デゴザイマスカ
○池田(勇)政府委員 私ノ所管外
デアリマスノデ、ハツキリシタ數
字ハ中上ガラレマセヌガ、專賣益
金トシテ入リマスモノハ、本年度

六十五億圓ヲ見込ンデ居リマス、而シテ鹽ノ專賣ニ依リマシテハ、相當ノ赤字ガ出ルノデゴザイマシテ、大體六億圓餘リノ赤字ヲ豫想セラレマスノデ、煙草ノ收入ト致

シマシテハ、七十一億圓程度ト考
ヘテ居リマス

○糖原委員 國鐵ノ税金ノ收入ハ
ドノ位デゴザイマスカ

○地田(勇)政府委員 國有鐵道力

ラハ税金ヲ徴收致シテ居リマセ
ヌ、唯通行税ト致シマシテ、國鐵
ガ乗客カラ徴リマス税金ハ、二億
數千萬圓ト考ヘテ居リマス

ウ云フコトニ根據ヲ置イテ、御決
メニサラウトシテイラツシヤイマ

サウシテ唯非常ニ少イ物デ、金持
ダケシカ手ノ届カナイヤウナ物ニ
對シテダケ、高率ナ奢侈稅ヲ課ケ
ルト云フ程度ニシ、分與稅ノ如キ
モ廢止シマシテ、サウシテ地方府
縣民稅、又市町村民稅ダケ澤山
デハナイカト云フヤウニ感ズル
デ、ソレマデニ簡單化シナイマデ
モ、何トカ此ノ點ヲ考ヘテ、早急
ニ之ヲ實現シテ戴キタイト思フ
デゴザイマス、ソシテ此ノ點ニ付
テ稅制ノ委員會ト云フモノヲ御持
チニナルサウデゴザイマスガ、其
ノ額觸ハドウ云フ風ナ人ヲ豫想シ
テイラツシヤルヲデアリマスカ、
主婦並ニ婦人ノ代表者ヲ入レル御
考ヘハゴザイマセスカ

○池田(義)政府委員 稅制ハ、租
稅ガ應能負擔ノ原則ニ適應シマス
範圍内ニ於テ、出來ルダケ簡素ニ
スル必要ガアルト思フノデアリマ
ス、隨ヒマシテ、今回モ其ノ簡素
ニ致シマス第一歩ヲ踏出シタノデ
アリマス、將來稅制ノ簡素化ニ
付キマシテ十分意ヲ用ヒイト考ヘ
テ居リマス、御話ノ如ク、綜合所
得稅ニシタナラバ非常ニ簡素デア
ルデハナイカ、勿論ソレハ分類所
得稅ト綜合所得稅ノ二本建ヨリモ
簡素デゴザイマス、併シ是ハ昭和
十五年マデ我が國ニ置イテ居ツタ
制度デゴザイマスガ、此ノ綜合所
得稅一本デ、本當ニ所得稅ノ負擔
ノ公正ハ期シ得ラレナイト思ヒマ
ス、負擔ノ公正ハヤハリ分類、綜

合ノ建前ガ宜イト思ヒマス、隨ヒ
マシテ各國トモ此ノ制度ヲ採用シ
テ居ル狀況デゴザイマス、併シ國
民ノ租稅ニ對スル觀念ガソコマデ
進シテ居ナイ、少々負擔ノ公正ハ
期シ得ラレナクテモ、分リノヨイ
方ガ宜イト云フコトニナリマスレ
バ、御話ノ通り綜合所得稅一本ガ
宜イカトモ考ヘマス、此ノ點ハ先
程申上ゲマスヤウニ、應能負擔、
課稅ノ簡素化ノ兼ネ合ノ問題デ決
マルベキモノト思ヒマス、又物品
稅ニ付キマシテモ、小賣課稅、製
造課稅、斯ウ云フヤウナ制度ハ今
回改メマシテ、製造課稅ニ致シマ
シタ、是デ餘程簡素ニ相成ツタト
思フノデゴザイマス、御話ノ甲乙
丙丁、斯ウ云フ風ニ分類致シマシ
テ、其ノ甲類ニ屬スルモノ、乙類
ニ屬スルモノ、皆稅率ガ異ツテ居
リ、非常ニ厄介デハナイカ、是ハ
御話ノ通りデアリマシテ、物品稅
ニ付キマシテハ將來十分檢討致シ
タイト考ヘテ居リマス、唯戰時中
非常ニ稅收ヲ焦リマシタ爲ニ、奢
侈品ノミニ對シテ課稅致シマス當
初ノ物品稅ノ目的ガ、段々擴張サ
レマシテ、生活必需品ニ近イ程度
ノモノマデモ課稅スルヤウニ相成
リマシタ關係上、其ノ生活必需品
ニ近イ物品ト、本當ノ奢侈品トノ
間ニハ稅率力ニ相當ノ違ヒガアリ
マスノデ、斯ク四階段ニ分ケテ、
奢侈品ニハ高ク、又生活必需品ニ
極ク近イモノニハ低イ、斯ウ風ニ
ヤツテ居ル次第デゴザイマス、是

ハ財政收入ヲ出來ルダケ多クスル
爲ニヤリマシタ戰時中ノ遺物デゴ
ザイマシテ、平和日本ノ爲ニハ斯
ウ云フ點ハ改メテ行キタイト考ヘ
テ居リマス、分與稅ニ付キマシテ
モ、是ハ中央、地方ヲ通ジテノ所
謂國、地方團體ノ歲入ヲドウ云フ
風ニスルカ、斯ウ云フ大キイ問題
デゴザイマシテ、今後行ハルベキ
租稅制度ノ改正ニ付キマシテハ、
十分檢討シナケレバナラナイ大キ
イ問題ダト考ヘテ居リマス、尙ホ
其ノ際ニ、租稅制度ノ委員會ニ如
何ナル委員ヲ選ブカト云フ問題ニ
付キマシテハ、是ハ先般大藏大臣
モ言ハレマシタヤウニ、民間ノ各
方面ノ方々ニ參加ヲ願ヒマシテ、
役人ノ意見デ決マルト云フ從來ノ
ヤウナ委員會デナシニ、本當ニ民
間カラ盛リ上ガル所謂意見ヲ土台
ニシテヤツテ行キタイト考ヘテ居
リマス、隨ヒマシテ、サウ云フ場
合ニハ、租稅ガ家庭生活ニ重要ナ
ル役割ヲ演ジマス關係上、婦人ノ
方ニモ勿論出テ戴キヤウニ相成ル
ト考ヘテ居リマス

○苦米地委員長 是ヨリ開會致シ
マス、前會ノ川島委員ニ對スル農
林省食品局長ノ答辯ガゴザイマス
○八坂政府委員 味噌、醬油ニ對
スル鹽味味噌ノ配給ノ關係ニ付テ
ノ御質問デアツタト承ツタノデア
リマスガ、味噌ニ付テハ一人當リ
一月平均百七十五匁ヲ基礎ニシテ
行ツテ居リマス、又醬油ハ全國平
均二合八匁程度ヲ基礎ニシテ鹽ノ
配給ガ割當テラレテ居ル譯デアリ
マス、併シ是ハ全國平均デアリマ
シテ、實ハ味噌ニ付テモ醬油ニ付
テモ三區域位ニ分ケテ、味噌ノ多
イ所ハ鹽ガ少イ、醬油ノ多イ所ハ
味噌ガ少イト云フ配合ニナツテ居
リマス、是ハ食習慣其ノ他ノ關係
カラ來テ居ル譯デアリマス、隨テ
醬油ハ二合ノ所ト二合七匁ノ所ト
三合七匁ノ所トアル譯デアリマ
ス、味噌ニ致シマスト其ノ少イ所
ヲ大キク埋メル譯デアリマスガ、
二百四十匁ノ所、百八十匁ノ所、
百二十匁ノ所、斯ウ云フ風ニ區分
ケサレテ居リマス、尙ホ是ハ醬油
ニアリマシテハ普通醬油ヲ基準ニ
致シテ居リマスノデ、濃厚醬油ヲ
配給スル所ニ於テハ是レノ八掛位
ニナラウカト思ツテ居リマス、左
様ナコトデアツテ居ル譯デアリマ
シテ、之ニ依ツテ鹽ノ割當ガ四半
期毎ニ分レテ居リマス、併シ實際
ノ鹽ノ配給ニ付テハ、醬油味噌ノ
供出量ニ「リンク」致シマシテ鹽

ヲ實際配給スルト云フ形ニナツテ
居リマス、是ハ橫流シ等ヲ防止ス
ル意味カラモ、又供出ヲ確保スル
ト云フ意味カラモ「リンク」制ニ
依ツテ行ツテ居リマス、現在ノ實
情カラ申シマスト割當ニ對シテ
醬油ノ方ハ六月マデノ實績デアリ
マスガ、鹽ノ割當ニシテ醬油ノ方
ハ八五%、味噌ノ方ハ約六〇%ト
云フ配給ノ實績ニ相成ツテ居ル譯
デアリマス
○川島委員 今ノ說明ニ依リマス
ト其ノ所々ニ依ツテ多少違ヒガア
ル、斯ウ申サレマシタ、而モ現在
味噌醬油ノ配給ガ政府デ豫定シテ
居ル基準通りニ國民ノ手ニ流レテ
居リマスカ
○坂田政府委員 味噌醬油ニ關シ
マシテハ國民生活上極メテ重要デ
アリマスノデ、此ノ配給シ的確ニ
實行スベク努力ハ致シテ居リマ
ス、唯茲ニ非常ニ大キナ問題トシ
テ味噌醬油共ニ其ノ主原料デア
大豆ガ九五%マデ滿洲大豆ニ依
シテ居ツタ譯デアリマス、此ノ九
五%ガ輸入サレナイト云フ實情ニ
アリマスノデ、生産ノ方カラハ非
常ニ困難ナ情勢ニ遭遇シテ居リマ
ス、併シ是ハ國民生活ノ確保上下
ウシテモ確保シテ行キタイト云フ
コトカラ味噌ニ付キマシタモ例ハ
最近馬鈴薯ガ出來マス、之ニ
依ツテ増量シテ參リ、又甘藷ヲツ
レニ増量スルコトニ致シタイ、尙

午前十一時五十八分休憩
午後一時二十九分開議

○苦米地委員長 豫算委員會デ重
大ナ説明ヲ大藏大臣ガナサルサウ
デアリマスカラ、多分傍聴シタイ
ト云フ方ガ多イト思ヒマスノデ、
コ、デ一旦休憩ヲ致シタイト存ジ
マス、午後一時ヨリ再開スルコト
ニ致シマス

午前十一時五十八分休憩
午後一時二十九分開議

大豆等ニシテモ出來得ル限り味噌方
面ニ注イデ行キタイト云フコトニ
依ツテ之ヲ確保シタイト考ヘテ居
リマス、又醬油ニ付テモ同様ナリ
況ニアリマスガ、是モ出來得ル限
リ確保ヲ圖リタイト云フコトカ
ラ、現ニ麥ノ穀ヲ全面的ニ活用シ
タイト云フコト計畫ヲ進メテ居
リマス、之ニ依ツテ配給量ノ確保
ヲ致シタイ、斯様ニ努メテ居リマ
ス、唯味噌ニ致シマシテモ例ヘバ
馬鈴薯ヲ混入致シテ配給スルト云
フコトニナリマシテモ、元種ガ切
レマスト配給ガ合理的ニ行キマセ
ヌカラ、七月ハ已ムヲ得ズ相當運
配ノ狀況ガ見エテ居ル譯デアリマ
ス、醬油ニ致シマスと六月マデハ
基準通り行ツテ居リマスガ、七月
以後稍々運配ヲ見テ居リマス、出
來得ル限り是ガ缺點ノナイヤウ
ニ、重要ナ生活資料トシテ確保ス
ベク努力ハ致シテ居リマス

○川島委員 出來ルダケ確保ト云
フコトデアリマスガ、今ノ基準量
ヲ將來ニ於テ割ルト云フ處レガア
リマスガ、ソレトモ基準量ハ、左
様ナ代用ヲ使用シテ國民ノ重大ナ
生活資料デアル現狀ノ味噌醬油ヲ
心配ノナイヤウニ致サレル御考ヘ
デアリマスカ

○坂田政府委員 基準量ニ付テハ
是等ノ配給制度ヲ確立致シマシテ
カラ已ムヲ得ズ一回ダケ基準量ヲ
下ゲタコトガアリマス、現在ノ所

此ノ基準量ヲ確保シテ行キタイト
云フノデ、凡ユル努力ヲ拂ツテ居
ル次第デアリマス

○川島委員 凡ユル努力デナク、
何トカ茲ニ明確ニ國民ノ豪所ガ納
得ノ出來ルヤウナ具體案ガ得ラレ
マセヌカ、是ハ非常ニ重要ナコト
デアツテ、勤勞生活者ノ現狀カラ
見テ、米、主食糧ヲ中心トシテノ
調味料ハ、我々ノ生活ニ重大ナ關
係ヲ持ツテ居リ、ソレニ對シテ將
來此ノ基準量ヲ割ツテシマフノ
カ、或ハ絶對ニサウ云フコトハセ
ヌト云フ御見込ヲ御持チデアルカ
ドウカ、ハツキリ御明示ヲ願ヒ
タイ

○坂田政府委員 詰リ此ノ基準量
ヲ下ゲナイ爲ニ、先程申シマシタ
ヤウニ、味噌ニ付テハ色々ノ増量
材ニ依ツテ確保シテ行キ、尙ホ内
地產ノ大豆等ニ付テハ、優先的ニ
ソレニ向ケテ行クト云フ方針ヲ確
立シテ居ル譯デアリマス、之ニ依
ツテ基準量ヲ割ラナイヤウニシテ
行ク、割ラナイヤウニシテ行ク
ガ、何トシテモ九五%ノ主原料ガ
ナクナツテ居ルノデアリマスノ
デ、此ノ大豆ノ輸入ト云フ問題ヲ
懇請致シテ居ルノデアリマスガ、
此ノ實現ニ努力シテ、基準量ヲ缺
カナイヤウニ努メテ参リタイ、斯
様ニ存ジテ居リマス

○川島委員 大豆ノ輸入ノ問題ニ
付テ、相當苦慮シテ居ルト云フ御
話デアリマスガ、其ノ折衝ノ經

過、内容ナドニ付テモウ少シ御話
ガ出來レバシテ戴キタイ、ソシテ
今後味噌、醬油ノ點ニ付テ、餘リ
國民ガ心配ナイヤウナ實情ニアル
カドウカ、ソレヲ一ツ出來レバ此
ノ際御示シテ願ヒタイと思ヒマス

○坂田政府委員 輸入ノ懇請ノ問
題ニ付キマシテハ非常ニ努力ヲ致
シテ居リマスルシ、又我々ノミナ
ラズ民間ノ方モ、又議員ノ方々
モ、特ニ「マツカサリ」司令部
ヘ御見エニナリマシテ、非常ニ強
イ、又切實ナ要請ヲサレルト云フ
ヤウナコトデアリマシテ、相當聯
合國側ト致シマシテモ熱意ヲ持ツ
テ居ラレルト云フコトヲ拜承致シ
テ居ル譯デアリマス、又我々ノ方
ト致シマシテモ、出來得ル限り之
ヲ即急ニ實現シタイト云フノデ目
下努力申デゴザイマス

○川島委員 サウスルト輸入ノ問
題ガ旨ク行カナレバ是ハ必然的
ニ今ノ基準量大幅ヲ割ルト云フ
コトニナツテシマフ譯デスカ、サ
ウ云フ御見込ハ一面ニ織込マナケ
レバナラヌノデスカ

○坂田政府委員 例ヘバ醬油ニ致
シマスと我々ノ方デ一面ニ於テハ
大豆ガナイ場合ニ於テ、如何ナル
原料ニ依ツテ醬油ヲ生産スルカト
云ツタ方面モ研究致シテ居リマ
ス、ソレハ麥ノ製粉歩留リヲ稍ミ
ドゲマシタ其ノ數ニ依ツテ醬油ヲ
生産スル、斯ウ云フ方向ニ進ム途
モ講ジツ、アリマス、併シ之ヲ大

量的ニヤリマスル場合ニ於テハ、
主食トノ關聯ガ起ツテ参リマスノ
デ、具體的ニドノ程度ノ數量ヲ行
クカト云フコトヲ今檢討中デアリ
マス、左様ナ色々ノ工面シタ方法
ト輸入懇請ト二ツ併セマシテ、是
ハドウシテモ基準量ヲ切ラズシ
テ、此ノ重要ナ國民生活ノ必要ナ
配給量ヲ確保シテ行キタイト云フ
コトデ目下努力中デアリマシテ、
是レ以上ノコトハドウシテモ申上
ゲル域ニ達シテ居リマセヌ

○苦米地委員長 ソレデハ前會ニ
引續キマシテ榊原君
○榊原委員 日本ノ稅ノ體系ガ餘
リ複雑デゴザイマスカラ、參考マ
デニ稅務署ニ働イテ居ル人員ノ數
ヲ御伺ヒサセテ戴キタイと思ヒ
マス

○池田(勇)政府委員 稅務署ニ於
キマシテハ、最近ハ稅務署バカリ
デナシニ、他ノ大藏省關係ノ仕事
ヲ致シテ居リマス、隨ヒマシテ稅
ノ仕事バカリノ稅務署員竝ニ稅務
局員ノ數ハ、制仕官 只今ハ事
務官デゴザイマスガ、事務官デ大
體一萬人デゴザイマス

○榊原委員 私人主稅局長ハ優秀
ナ人ヲ將來稅務吏員ニスルヤウニ
御盡力下サルト官ツテ居リマス
レドモ、今ノ所他ノ官吏ニ比ベテ
待遇ガ惡イノデ、稅務吏員ハ學問
モ教養モ低イ人ガ多クナツテ居ル
ト云フコトデ、是ガ又色々ナ問題
ヲ起シテ居ルト思フノデス、色々

收購ノ如キ宜カラヌモノ撒イテ居
ルト思ヒマスカラ、此ノ爲ニハド
ウシテモ待遇改善ト云フコトモ考
慮シテ下サイマシテ、優秀ナ人材
ヲ稅務吏員トシテ擴充シナケレバ
ナラナイト思フノデゴザイマス、
サウシテ稅ノ體系ヲ簡易化スルコ
トニ依ツテ事務ヲ簡捷化シ、ソレ
ニ依ツテ人員ト云フモノハ可ナリ
ノ程度整理サレルト思ヒマスカ
ラ、ソレヲ是非他ノ吏員ニ振向ケ
テ待遇ヲ一段ト善クシテ戴キタイ
ト云フコトヲ御願ヒ致シマス、ソ
レカラ併セテ今度ノ財產稅ヤナン
カノ徵稅ニ要スル費用ノ豫算ト云
フモノヲ御伺ヒシタイと思ヒマス

○池田(勇)政府委員 稅務職員ノ
待遇ハ決シテ他ノ職員ヨリ惡クハ
ナツテ居リマセヌ、又能力ノ點ニ
至リマシテモ他ノ官廳ノ職員ヨリ
決シテ劣ツテハ居リマセヌ、今マ
デノ狀況カラ申シマスと、稅務署
ノ職員ハ辭メマシテモ非常ニ餘所
カラノ要求ガ多ウゴザイマス、此
ノ仕事ハ地道デゴザイマシテ、非
常ニ専門的ニナリ、經濟界ノ事情
ニ能ク通ズルヤウニナリマスノ
デ、稅務職員ニ付キマシテハ大體
一般カラ實ハ引張風ノヤウナ狀況
デゴザイマス、私ハ此ノ點ニ於テ
今ノ稅務官吏ノ能力ハ他ノ役人ヨ
リ劣ツテ居ルトハ考ヘマセヌ、ド
チラカト官ヘバ、優ツテ居ル位ニ
思ツテ居ルノデゴザイマス、唯仕
事ノ性質ガ國民ノ利害休戚ニ非常

ニ影響ガアリマスシ、又金ノ問題
デアリマスノデ、遺憾ナガラ時々
收賄ノ事件ガ起ルノデゴザイマス
ガ、斯ウ云フコトハ極力防止スル
ヤウニ努メテ居リマス、財産稅等
新稅ガ施行サレマスノデ稅務官吏
ハ相當殖ヤス積リデ居リマス、而
モ増員致シマス對象ハ專門學校以
上ノ立派ナ能力ヲ持チ、又相當高
潔ナ人格ノ人ヲ選ブ積リデ居リマ
ス、稅制ヲ簡素化ニシタナラバ今
少シク職員ノ數ヲ少クシテモ宜イ
シ、又其ノ代リニ待遇ヲ善クシテ
モ宜イ、斯ウ云フ御話デアリマス
ルガ、今ノ日本ノ稅務ノ仕事ニ對
シマスル職員ノ數竝ニ徵稅費ハ非
常ニ少イノデゴザイマス、百六十
億圓ノ歲入ヲ舉ゲマスノニ非常ニ
少イ金額ニナツテ居リマス、大體
百圓ノ稅收入ニ對シマシテ三十錢
程度ニ相成ツテ居ルト思ヒマス、
之ニ市町村交付金、即チ市町村デ
徵ツテ載キマス爲メノ交付金ヲ入
レマシテモ百圓當リ六十錢カ七十
錢位ニナツテ居リマス、「アメリ
カ」ニ於キマシテハ大體百圓當リ
二圓五十錢程度ノ徵稅費ヲ使ツテ
居ルト云フコトヲ聞キマシタ、關
係方面ニ於キマシテモ、日本ノ徵
稅機構ハアマリニ貧弱過ギル、モ
ウ少シ立派ナ人ヲ澤山入レテ、サ
ウシテ徵稅ノ萬全ヲ期セナケレバ
ナラヌト云フコトヲ非常ニ言ツテ
居ルノデゴザイマシテ、我々モ租
稅ガ國民經濟竝ニ國民個々ノ人ノ

利害休戚ニ非常ニ關係ガアリマス
コトヲ痛感致シマスノデ、今後稅
務機構ハ十分擴充致シマシテ、職
員ノ素質モ全般的ニ向上セシメル
ヤウ努力致シタイト思ツテ居リマ
ス、財産稅ノ徵收費ハ大體一億三
千萬圓程度ヲ計上致シテ居リマス
○總原委員 私ハ是カラ今度ノ稅
ノ問題、國民生活ガ之ニ依ツテ潰
レルカドウカト云フヤウナ重大ナ
稅ノ問題ニ付キマシテ、此ノ際
非斯ウシタ方ガ宜イト云フヤウナ
コトニ付キマシテ大藏大臣カラ御
答辯ヲ伺ヒタイト思ヒマスノデ、
私ノ質問ハ大臣ガ御見エニナルマ
デ保留致シタイト思ヒマス
○苦米地委員長 ソレデハ大臣ガ
見エルマデ質問ヲ保留シテ、小川
君ニ願ヒマス
○小川原委員 內務大臣オ見エニ
ナリマスカ、又總理大臣ハドウナ
リマシタカ
○苦米地委員長 今交渉シテ居リ
マス
○小川原委員 私ノハ少シ根本問
題ナンデスガ、內務大臣ガ直グオ
見エニナルヤウデシタラオ待テ致
シマス
○苦米地委員長 ソレマデ政府委
員ニ對スル御質問カ何カアリマセ
ヌカ
○小川原委員 ソレデハ政府委員
ノ方ニ御質問シタイト思ヒマス、
少シ問題ガ細カイノデ恐縮致シマ
ス、併シ分ラヌ所ガアリマスノデ

御尋ネ申上ゲタイト思フノデアリ
マス、實ハ私所得ト云フコトハ通
念的ニハ戰爭ガ終ルマデハ分ツテ
居リマシタ、戰爭ガ終ツテシマツ
テカラ、一體所得ト云フモノガド
ウ云フモノカ、技術的ニ言フナラ
バ法學通論的ナコトガ考ヘラレナ
クナツタ、ソレハ何デアルカト申
シマスト斯ウ云フ場面ハ一體課稅
ノ對象トシテドウナルノカト思
フ、是ハ私ノ知識ノ足ラヌ點デア
ルカラ御諒承ヲ願ツテ置キマス、
米一俵ヲ公定相場デ買フノナラ宜
シイ、所ガ之ヲ闇買ヒスルコト
ニシテ、千圓ノ金ト錦紗ノ着物一
枚ヲ添ヘル、此ノ場合ニ錦紗ヲ幾
ラニ見積ルカト云フト、千二百圓
ニ見積ツテ居ル、此ノ時ノ課稅對
象ハドウナルノデセウカ、ソレカ
ラモウ一ツ、例ヘバ二歲駒ヲ買ヒ
マス、其ノ時ニハ四千圓ナラ四千
圓トシテ立派ニ課稅對象ニナツテ
居ルカラ、ソレバ牛馬商ガ買ツ
テ、馬一頭ト米一俵ト取換ヘタ、
此ノ課稅對象ハドウコニアルノデセ
ウカ、斯ウ云フコトニ對シ課稅技
術トシテドウ御課稅ニナルカ御尋
ネヲシテ置キタイト思フノデアリ
マス
○池田(勇)政府委員 稅法上ニ於
キマスル所得ノ見方ニハ二通りゴ
ザイマス、資産ノ増加シタ場合ノ
其ノ増加額ヲ所得トスル場合、ソ
レガ一ツデゴザイマス、法人ニ對
スル課稅ハ、斯カル觀點カラ法人

ノ所得ヲ見テ居リマス、個人ノ所
得ニ付キマシテハ資産ノ増加額ハ
所得トハ見テ居リマセヌ、個々ノ
行爲カラ生ズル所得ト見テ居リマ
ス、例ヘバ勤務カラ出テ來ル所
得、營業カラ出テ來ル所得、不動
產等カラ出テ來ル所得、斯ウ云フ
風ニ分ケテ居リマス、隨ツテ個人
ノ今ノ所得ニ付キマシテハ資産所
得、事業所得、勤務所得、退職所
得又ハ清算取引所得或ハ今回設ケ
マシタ讓渡所得、斯ウ云フ風ナ所
得ニ課稅スルコトニシテ居リマ
ス、今ノ金千圓ト錦紗ノ着物一枚
デ米ヲ賣ツタ場合ニシテモ、ソレ
ハ一時的ノ所得デスカラ稅法上課
稅シナイコトニシテ居リマス、吳
服屋デ又米ヲ賣買スルコトヲ商賣
ニシテ居ラレル方ハ事業所得トシ
テ課稅致シテ居リマスガ、事業ヲ
シテ居ナイ所得ニハ如何ニソコニ
營業ヲシテ居リマシテモ、所得ト
シテ課稅シナイコトニナツテ居リ
マス、馬ヲ賣ツテ米ヲ買ハレタ場
合モ同様デアリマシテ、ソレガ博
勞デアリ、サウシテ又米ノ商賣ヲ
シテ居ラレマスナラバ課稅ヲ致シ
マス、サウ云フ建前ニナツテ居ル
ノデアリマス、原則トシテ一時ノ
所得ニハ個人ノ所得稅ケマセヌ
ガ、最近ニ至リマシテ清算取引所
得、例ヘバ取引所ニ於テ清算取引
ヲヤツタ、其ノ所得ハ假令一回ヤ
ツタトシテモ是ハ課稅スル、ソレ
カラ又土地ノ「ブローカー」デナ

イ方ガ、昔カラ持ツテ居タ土地ヲ
高ク賣ラレタ、之ニ付テノ所得デ
アリマスガ、是ハ讓渡所得トシテ
課稅致シテ居リマス、原則ト致シ
マシテ營業デヤツテ居ル所得ニ對
シテハ課稅シテ居リマスガ、一時
ノ所得ニ付テハ課稅シナイ、サウ
云フ場合ニハ特ニ名義ヲ設ケテ課
稅スルコトヲ認メテ居リマス
○小川原委員 內務大臣ガオ見エ
ニナツタヤウデアリマスカラ、又
後デ御尋ネスルコトニシテ、先ツ
內務大臣ニ御尋ネ致シマス、內務
大臣ガ私共ニ御配リニナリマシタ
說明書ヲ拜見致シテ見マスルト、
自治ノ發達、自治ノ強化、自治ノ
民主化ヲ強調セラレテ居リマス、
是ハ地方自治ノ爲ニ私共難ク感
謝ヲシテ居ルモノデアリマス、サ
ウシテ地方ノ財源ノ擴充、地方
財政ノ自主性ノ強化竝ニ地方財源
調整ノ適正化、此ノ三點ヲ舉ゲラ
レテ居リマスガ、是ハ自治ノ爲ニ
ハ御尤モノコトト存ズルノデアリ
マス、此ノ三ツノ目標ヲ遺憾ナク
達成セシメル爲ニハ、自治ノ本質
ト致シマシテ、自治體ソレ自身デ
自由ニ賄ハレル所ノ稅源ガアツ
テ、初メテ此ノ三ツノ目標ガ實行
出來ルト思フノデアリマスガ、大
臣ノ御所見ハ如何デアリマセウ
カ、之ヲ一ツ御尋ネ致シタイト思
ヒマス
○大村國務大臣 今回地方制度ヲ
改正致シ、又地方稅制ニモ手ヲ入

レマシテ民主主義ノ線ニ沿ウタ地
方自治團體ノ稅務ノ圓滑ナル運
ヲ庶幾致シテ居ルノデアリマス、
ソレニ付キマシテハ現在ノ色々ノ
事情ニ依リマシテ、未ダ以テ十分
ダト云フ所マデノ改正ニハ至リ兼
ネテ居ル點ガアルト思フノデアリ
マス、殊ニ經濟財政事情ハ戰後大
變窮屈デアリマスノデ、財政面ニ
於キマシテハ其ノ感ガ特ニ深イト
思フノデアリマス、併シ大筋ダケ
ハ此ノ際打立テルコトガ出來タト
思フノデアリマス、御話ノ如ク地
方團體ノ場合ニ於テハ出來ルコト
ナラバ其ノ全部ヲ地方自治團體獨
自ノ手デ集メルコトノ出來ルモ
ノ、即チ使用料デアリマストカ、
手数料デアリマストカ、或ハ市町
村デゴザイマスナラバ市町村民稅
或ハ其ノ他ノ市町村デ自主的ニ
徵ルコトノ出來ル税金デ贈フト云
フコトガ理想デアリマス、唯ソコ
ニ考慮ヲ加ヘナケレバナリマセヌ
コトハ、各地方團體ハ丁度個人ニ
於ケル場合ト同様ニ、財政上ノ實
力ガ團體ニ依ツテ違フノデアリマ
ス、個人ニ依リマシテ金持ト貧乏
人ノアリマスノト同ジニ、地方團
體ニ於キマシテモ村々又ハ町々ニ
依リマシテ財政力ニ逕庭ガゴザイ
マス、其ノヤウナ所ニ於テ悉ク自
前デ經費ヲ賄ヘト云フコトニナリ
マス、貧乏ノ團體ニ於キマシテ
ハ非常ニ負擔ガ重クナル、ソレカ
ノ裕福ノ團體ニ於キマシテハ相當

ノ仕事ヲヤリマシテモ尙ホ負擔ハ
非常ニ輕イ、同ジ國民ノ間ニ於キ
マシテ、ソコニ著シイ逕庭ノ出來
マスコトハ決シテ好マシイコトデ
ハゴザイマセヌノデ、或ル程度ノ
各團體間ノ財政調整ヲアルト云フ
コトハ、實際問題トシテ必要デア
ラウト思ヒマス、但シ現在ノ如ク
國庫カラノ補助金ノ割合ガ多イト
カ其ノ儘デ宜シイカドウカト云フ
コトハ、更ニ檢討シナケレバナリ
マセヌガ、併シ或ル程度ノ財政調
整作用ヲ担ヒマシタ國カラノ交付
金ト云フコトハ、是ハ存置スベキ
デアラウト思ヒマスルガ、ソレ以
外ノコトハ團體ノ自力デ自前デ賄
ウテ行ケルト云フコトニスルノガ
理想デアルト考ヘテ居ル次第デア
リマス

○小川原委員 今ノ御話デハ各市
町村ニ甲乙ガアルカラ、其ノ富ノ
程度ニ依ツテ按配ヲシナケレバナ
ラヌト云フ、御尤モノコトデアリ
マス、地方分與稅ヲ一體御與ヘニ
ナルト云フコトハ、是ハ天降リ的
ナ財源デアリマス、其ノ天降リ的
ナ財源デ自治ヲ賄ヘト云フコト
ハ、地方自治ノ本質カラ最モ離レ
タ非常ニ程遠イ所ノ問題デアリマ
ス、茲ニ今御承シニナツタ言葉
ト只今ノ御話ニナツタ言葉トハ全
ク離レテ居ルノデアリマス、何故
カト申シマスルト、分與稅ヲ頂戴
致シマシタコトハ、之ヲ例ヘテ見
マスト、自分ノ子供ガ自分デ活動

シテサウシテ食ベルト云フコトガ
出來ナイデ、母親カラ乳ヲ貰ツテ
生長シテ行カウ、斯ウ云フコトニ
相成ルノデアリマス、サウ云フコ
トガ自治ノ民主化デハナイト私ハ
考ヘルノデアリマス、自治ヲ發達
サシテサウシテ強化サレテ行ク、
斯ウ大臣ハ仰シヤイマスガ、理想
ハ徵ツタ所ノ稅デ賄フコトガ理想
ガト仰シヤイマスケレドモ、其ノ
政府ノナサレマス所ハ全ク矛盾極
著シテ居ルノデ、自治ト云フモノ
ガ非常ニ逆進シタ封建制度ノ如ク
還ツテシマツタノデアリナカト云
フマデニ私ハ疑フノデアリマス、
此ノ點ハ如何デゴザイマセウカ
○大村國務大臣 地方團體ノ財政
ノ上カラ申シマシテ理想トスル所
ハ、先程私ハ大體申シゲタ次第デ
アリマスガ、然ラバ今日提案シテ
居リマスモノガ其ノ理想ニ非常ニ
近付イテ居ルカト申シマス、必
ズシモサウデナイト思ヒマス、ソ
レハ現下ノ情勢カラ致シマシテ、
經濟政狀況ガ前途ニ付キマシテ十
分ナル見透シモ付カヌ時デアリマ
ス、又國ノ方ノ財政ノ點ニ付キマ
シテモ其ノ點ハ同様ナコトガアリ
マスガ、モウ少シ事態ガ安定致シ
マシテ、見透シノ付キマス時期ニ
於キマシテハ、必ズ是ハ國及ビ地
方團體ヲ通ジマシテ根本的ナ改組
ヲ致シマシテ、サウシテ國ノ必要
ニモ適スルヤウニ稅制等ガ改正セ
ラレマス同時ニ、地方ノ財政ノ

上ニモ適切ナ改革ヲ加ヘルコトガ
必要ダト思ヒマス、是ハ近キ將來
ニ殘サレテ居リマス所ノ大キナ一
ツノ問題デアルト思フノデアリマ
ス、恐ラク是ハ早急ニ私共トシテ
モ研究調査ヲ始メナケレバナラヌ
ノデアリマス、例ヘバ町村ニ於キ
マシテ十萬圓ノ經費ガ要ルト云フ
ヤウナ場合ニ於キマシテ、三萬圓
トカ四萬圓トカ云フ程度ハ、是ハ
先ニ申シゲマシタヤウナ地方財政
ヲ調整スルト云フヤウナ意味ニ於
キマシテノ分與稅ノ如キモノヲ存
置スルコトガ適當デゴザイマセウ
ガ、六萬圓トカ七萬圓トカ云フヤ
ウナ主要部分ハ町村ガ自前デ財源
ヲ調達ガ出來ルト云フヤウナ工合
ニ考ヘテ行クベキモノダト思フノ
デアリマス、ソレニ付キマシテハ
或ハ國稅ノ或ル部分ヲ地方稅ニ委
讓シテシマフ、乃至ハ更ニ地方團
體ニ對シマシテ新シイ課稅權ヲ附
與スル、色々ノ王夫ヲ致シマシテ
其ノ理想ニ近寄ルヤウナ改善ハシ
ナケレバナラヌト思ヒマス、本年
ノ提案ニ付キマシテハ大體其ノヤ
ウナ點ヲ目標ト致シマシテ、今日
ノ現狀ニ於テ出來得ル限りノ獨立
財源ヲ地方ニ附與スルト云フコト
ニ努メタノデアリマシテ、今日ノ
點ヲ以テマシテ理想點ニ達シテ居
ルトハ考ヘテ居テイ次第デアリ
マス

○小川原委員 是ハ大事ナ問題デ
アリマスカラモウ少シ繰返シテ問
ハシテ戴キマス、七十年餘リデ漸
ク地方長官ガ公選サレルト云フコ
トニナリマシタ、住民ハ今度コソ
ハ我々ハ本當ノ自治ノ本領ガ具現
化スルモノダ、斯ウ云フヤウニ地
方自治民ハ非常ナ喜ビト誇リヲ持
ツテ居リマス、此ノ地方長官ト云
フモノヲ公選シテ、此ノ燃エテ居
ル熱意、丁度選バレテ出マシタ所
ノ地方長官ハ官吏デアアルノカド
ウカ、改正案ヲ見マスルト官吏ダト
云フ、ソレカラ自治ヲ非常ニ強化
シテヤルノダト仰シヤツタガ、理
想的ニハサウデ、現實トシテハサ
ウハ行カナイノデアリマス、サウ
デアリマスルカラシテ國家ノ稅源
ト云フ稅目ニ對シテハ委讓セヌノ
ダ、斯ウ云フコトニナリマス、
狐ニ瞞サレタヤウナモノデ、公選
ダト云ツタ地方長官ガ公吏デナク
官吏デアアル、地方ノ自治體ヲ發達
サセナケレバナラヌ、斯ウ云ツテ
居ツテ闇ニ燈火ヲ得タカト思フ
ト、サウデハナクテソレハ委讓セ
ヌノダ、ソレガ理想ナシタ、サウ
行キタインダガ、ソレハ待テ、サ
ウナリマス、此ノ地方制度一部改
正モ、今度此處ニ現ハレマシテ今
審議シテ居リマスコトモ、全部何
ガ何ダカ私ニハ判斷ガ出來ナク
テ、自治ノ民主化デナイ、斯ウ云
フ感じガ致スノデアリマス、サウ
シテ私ハ斯様ニ思ツテ居リマス、
分與稅ト云フモノハ戰爭中ニ便宜
主義デ出來タ所ノ稅デアツテ、一

體アレハ變態稅デアルト思ヒマ
ス、サウシテ地方ノ町村ハ財源ガ
アリマセヌカラ、財源ノ一部ヲ親
心トシテ分與稅ト云フモノデ吳レ
ル、サウシテ之ヲ還元配給ヲ致
ス、其ノ上ニハ國政ト云フモノガ
アリマシテ町村ニ對シマシテ強
的ニ國務ヲ遂行シタ、所ガ戰爭ガ
濟シデ是ガ解カレテ、民主主義ナ
平和ナ新シイ日本建設ト云フ時
ニ、サウシテ、部稅制ノ改革ト云
ハレマスケレドモ、一部ト云フ名
前ノ下ニ何十億ト云フ増稅ニナツ
テ居リマス、此ノコトハ後カラ御
尋ネ致シマスガ、此ノ便宜主義ナ
變態的ナ稅目ヲ改廢致シマシテ、
全ク明朗ナ自治權ヲ行使セシメル
コトガ今日ノ我ガ日本國民ニ對ス
ル所ノ政府ノ有難イ態度デナケレ
バナラヌト私ハ考ヘルノデアリマ
ス、ソレデモ尙ホ政府ハ今仰シヤ
ツタヤウニ固執ヲシテ行カレルノ
デアリマスガ、モウ一ツ此處デ私
ハ申述ベサシテ戴キタイト思ヒマ
ス、内務大臣ハ理論的ニハ稅源ト
財源ト云フモノヲ區別シテ仰シヤ
ラレテ居リマスガ、併シ實行ノ上
ニ於テハ稅源ト財源ヲ混用サレテ
居リマス、此ノ點ガ私ハ第一了解
ニ苦シムノデアリマス、地方住民
ト云フモノハ分與稅ト云フ單ナル
財源、即チ言葉ヲ換ヘテ言フナラ
バ、單ニ金錢ヲ以テ貰ツタカラト
云ツテ自治住民トシテハ満足致サ
ナイノデアリマス、殊ニ日本人ト

云フモノハサウ云フ性質ヲ持ツテ
居ルノデアリマス、私ハ多年ノ體
驗、自治ニ二十有餘年關係シマシ
テ、眞ニ住民トシテ考ヘマシタ時
ニ、困カラ金ヲ貰ツテ満足致シマ
セヌ、其ノ自治ノ本質デアル所ノ
稅源ヲナゼ與ヘナイカ、稅源ヲ貰
ツテ自治體ヲ自分デ切盛リスル所
ニ自治ノ本領ガアリ、住民ノ自治
的活動ガアリ、自治ノ有難サガ
コ、ニアル、茲ニ於テ自治ノ發達
モ強化モ遂ガラレルノデアリマ
ス、ソレヲ何故ニ分與稅デナケレ
バナラヌト言フノカ、斯ウ私ハ考
ヘルノデアリマス、其ノ分與稅ヲ
モウ一ツ考ヘテ見マス、分與稅
デ地方ニ與レマス所ノ稅額モ、ド
レカノ國ノ稅目ヲ地方ニ委讓スル
所ノ稅額モ、歲入トナツテ現ハレ
ル所ノ金額ハ大體差異ノ起ラヌモ
ノデアリマス、是ハ腰溜メデヤツ
テ居リマス、是ハ大體差異ノ起ラ
ヌモノデアリマス、ソレナノニ分
與稅デナケレバナラヌト云フ所ニ
ハ、政府ガ分與稅ト云フ天下リ的
ナ一ツノ稅ヲ與レテ置イテ、サウ
シテ自治ノ内容ニ深く喰入ツテ政
治的ノ干涉ヲシヨウト云フ一手段
デハナイカト云フコトモ、考ヘレ
バ考ヘ得ラレルト思フノデアリマ
ス、所ガ疑フ御話ニ依リマシテ地
方ノ富ニ依ツテ違フ、成程御尤モ
デアリマスガ、私ハ斯様ニ考ヘマ
ス、ソレナラ地租デアツテモ或ハ
家屋稅デアアラウガ或ハ營業稅デア

アラウガ、是ハ町村自治ニ委セテ宜
イト思ヒマス、今ノ私ノ觀點ヲ是
ナリトシテ其ノ價格ガ同ジデア
ルストスルナラバ、之ヲ委讓シテ宜
シイ、ソレナラ移讓スルト富ミタル
縣ハ非常ニ豐デアルケレドモ富マ
ナイ縣ハドウカ、此ノ場合國家ハ
附加稅ヲ課ケレバ宜イ、サウスル
ト逆ノヤウデアリマスガ、逆デハ
ナイノデアリマス、之ヲ國家ガ取
上ゲテ使フ所ノ金デアツタカラバ
是ハ本稅デアアル、所ガ富ノ程度ニ
依ツテ分ケルト云フナラバ補助ス
ルト云フコトハ、稅制ノ本體デア
リマスカラ、附加稅ヲ取ツテ、サ
ウシテ甲ノ縣、乙ノ縣ニ分與シテ
ヤル、斯ウデアアルナラバ何モ稅目
ヲ委讓シタカラト云ツテ國家ノ歲
入ニハ何ニモ變ツテ來ナイ、ソコ
デ國民ハ喜ンデ本當ニ自治ノ爲ニ
働ク、斯ウ云フコトナラ喜ンデ國
家ノ爲ニ國民ノ一人トシ、住民ノ
一人トシテ活動致シマスガ、之デ
オヤリニナラス所ニ私ハ非常ニ不
思議ヲ持ツテ居ルノデアリマス、
是ハドウ云フノデアリマスガ、其
ノ御見解ヲ聽カネバナラヌト思フ
ノデアリマス

○大村國務大臣 土地、家屋、營業
ト云フヤウナモノノ稅金ハ是ハ多
年我が國ニ於テモ論議サレテ居
リマスカラ、地方團體ノ稅ニシタ
マシヤウニ、地方團體ノ稅ニシタ
方ガ理論上宜シイト云フヤウナコ
トガ略々定説ニ相成ツテ居ルノデ
アリマス、而シテ其ノコトハ實際
問題トシテハ解決サレテ居ルノデ
アリマス、御承知ノヤウニ課稅標
準ハ全國的ニ統一ヲ取ルト云フヤ
ウナ必要カラ國稅ノ形ニ於テ徵ツ
テ居リマスケレドモ、所謂還付稅
ト致シトシテ各地方團體ハ自分デ
課ケタト同ジ同一ノ課稅收入ヲ確
保スルコトガ出來テ居ルノデアリ
マス、併シ此ノ點ニ付キマシテハ
今後稅制改正ニ當リマシテ、名目
上ハ國稅トシテ實質ハ地方還付シ
テ居ルノデアリマスカラ、サウ云
フヤウナ廻リクドイコトハ致シマ
セヌデ、直接地方團體ニ土地、家
屋、營業ニ課稅ヲサセルト云フヤ
ウニ改メルコトモ今後ノ稅制改革
ノ場合ニ於ケル一ツノ大キナ考
點デアアラウト思ヒマス、併シ地方
ノ財政ノ上カラ中シマス、實質
上ハ私ハ三稅ガ地方ニ委讓サレタ
ト同ジコトニナツテ居ルト思フ
デアリマス、尙ホ今回ノ改正ニ於
キマシテハ、住民負擔ハ増加致シ
マスルガ、相當大幅ニ町村民稅ヲ
増稅スル、府縣民稅ヲ創設スル
ト云フヤウナコトデ、地方團體ニ相
當多額ノ獨立財源ヲ財政ノ面カラ
中シマスト附與シ得タノデアリマ
スガ、併シ何ニ致セ、地方團體ノ
財政需要ガ非常ニ大ナモノデア
リマスカラ、ソレヲ始末シ得ルガ
ケノ新規獨立財源ヲ與ヘル工夫ガ
ゴザイマセヌノデ、已ムヲ得ズ
ハ大藏省ニ御頼リシテ、ソコデ不
足分ハ分與稅ノ増額ト云フコトデ

本年ハ辻褄ヲ合ハシタノデアリマ
ス、御承知ノヤウニ前年ニ比ベマ
スト分與稅ハ二倍半位ニ殖エテ居
ルノデアリマス、併シ是ハ地方財
政ノ上カラ中シマシテ決シテ理想
的ノ形デハナイト思ヒマス、分與
稅ノ如キハ地方財政ヲ調整スル最
小限度ノモノトシテ存置スルコト
ト致シマシテ、其ノ他ハ地方自治
前デ始末ノ出來ル稅源其ノ他ノ財
源ヲ付與スルノガ望マシイト思フ
ノデアリマス、尙又分與稅ノ點ニ
付キマシテモ、是ハ政府ガ分與稅
ヲ當ガヒ扶持ニシテ、サウシテソ
コニ干涉監督ノ足掛リヲ求メテ居
ルノデハナイカト云フヤウナ疑モ
一應起リ得ルノデアリマスガ、分
與稅ノ配分ニ付キマシテハ御承知
ノヤウニ客觀的ノ標準ヲ設ケマシ
テ、内務省ノ手加減デ増減ノ出來
ナイヤウニ十分ノ考慮ヲ拂ツテ居
ル譯デアリマス、御承知ノヤウニ
分與稅總額ノ百分ノ五ハ別ニ取
置キマシテ、見立制式ノコトヲ致
シテ居リマスガ、殘ル百分ノ九十
五ト云フモノハ客觀的ノ標準ニ依
リマシテ彈キ出シ、内務省ノ下加
減デ増減ヲスルコトガ出來ナイヤ
ウニナツテ居ルノデアリマス、尙
又百分ノ五ノ見立制式ト云フヤウ
ナ部分ニ付キマシテモ、出來ルタケ
客觀的標準ヲ取リマシテ、役人ノ
恣意ニ依ツテソレヲ増減スルト云
フヤウナ點ヲ極力制限スルト云フ
コトニナツテ居リマスノデ、分與

税ヲ各市町村團體ニ配付スルコトニ依リマシテ、ソコニ行政官ノ我ガ儘ガ働イテ干渉乃至監督ノ手掛リニスルト云フヤウナ點ハナイ仕組ニナツテ居ル次第デアリマス

○小川原委員 モウ一點御伺ヒ致シタイト思ヒマス、是ハ理想論ト實行論ノ行違ヒガアルノデ、果テシガナイ話デアリマスガ、大體内務大臣ノ御誠意ノアル點モ段々分ツテ參リマシタガ、私ハマダ腑ニ落チナイ點ガアリマスノデ、一、二點伺ツテ置キタイノデアリマス

サウ致シマスト一面ニ於キマシテハ委員會ニ於テ地方制度ノ改革ヲヤツテ居リマスガ、公選セラレマシタ知事ハ公吏トシテ御取扱ニナリマスガ、税ノ方ハ仕方ガナイ、税ノ方ハ仕方ガナイカラ狀況ヲ睨ミ合ハシテ行カウ、併シ自治ノ本質ノ上カラ考ヘルト、一方デ地方長官ト云フモノハ公選スレバ直チニ公吏デアルト云フコトニナリマス

モウ一點、ソコニ理想論ヲ持出シマシテ御心配ニナツテ居ル點ハ十分承知ヲ致シマシタガ、是ハ大臣ト致シマシテ何時頃此ノ三税ヲ委讓サレマスル御考ヘデアリマスガ、此ノ二點ヲ御尋ネ致シタイ○大村國務大臣 三税ノ委讓問題其ノ他地方税ノ改正ハ當然ニ國稅ニ至大ノ影響ガゴザイマスノデ、國庫財政ト云フヤウナ點ト相並行シテ研究シナケレバナラヌ問題デ

アリマス、サウシテ國ノ財政ノ問題ニ付キマシテハ大藏大臣モ度々御話ニナツテ居リマスヤウニ、近イ將來ニ於キマシテ其ノ御計畫ガアルノデアリマシテ、地方財政ヲ主管シテ居リマスル内務省ト致シマシテモ、近イ將來ニ於キマシテ、國稅、地方税ヲ通ジマシテ十分ニ研究調査ヲ遂ゲテ、新シイ經濟財政事情ニ即應スルヤウナ改正ヲ出來ルダケ早クヤリタイト云フヤウニ考ヘテ居ル次第デアリマス

次ニ公選知事ヲ官吏トスル點ニ付テノ御尋ネデアリマスガ、是ハ別ノ委員會ニ於キマシテ只今御審議中デアリマスルガ、政府ノ見ル所デハ現行憲法下ニ於キマシテ知事公選ヲ取上ゲル、而シテ現行憲法下ニ於ケル府縣行政ノ運營ノ實際ハ官吏タル知事ニ依ツテ運營サレルト云フ建前ニナツテ居リマスノデ、是等ノ建前ヲ併セテ改正シテ行キマスマデノ間ハ、暫定的ノ措置ト致シマシテ公選知事ニ官吏ト云フ身分ヲ與ヘマシテ、サウシテ官吏方府縣行政ヲ取扱ツテ居ルト云フ現實ニ調和サセルト云フ應急ノ措置ニ依リマシテ、現行憲法下尙ホ終戦後必要トスル地方行政ノ民主化ヲ圖ツテ行キタイト云フ趣旨デゴザイマスノデ、此ノ點ニ付キマシテハ度々本會議及ビ委員會ニ於キマシテモ、政府ノ意ノアル所ヲ申述ベマシテ、關係議員各位ノ御審議ヲ仰イデ居ル次第デア

リマス

○小川原委員 是レ以上御尋ネシテモ致シ方アリマセヌノデ、私ハ盡ニ拙イタ牡丹餅ヲ見テ欣ブト云フヨリ外ニ方法ガナイモノトシテ、モウ質問ヲ續ケルコトガ無駄デアルト考ヘマスカラ、其ノ點ハ是デ以テ打切りマシテ、次ニ御尋ネ致シタイコトガアリマス

○苦米地委員長 小川原君ニ一寸御相談致シマスガ、内務大臣ハソレデ宜シウゴザイマス

○小川原委員 宜シウゴザイマス

○玉井委員 私人務大臣ニ御聴キシタイコトガアルノデスガ、如何デスカ

○苦米地委員長 簡單ナラ御許シ致シマス

○玉井委員 昨日同僚ノ川島君カラ治安維持ノ問題ニ關スル質問ニ對シテ、大臣カラ御答ヘニナツタノデアリマス、ソレニ依ルト、現在ノ日本ノ警察力ニ依ツテ日本ノ治安ハ完全ニ保タレル、而シテ進駐軍ノ指導或ハ援助ヲ受ケテヤレルト云フヤウナ御答辯ノ趣旨デアツタト思ヒマス、而シテ警察官ノ數ガ全體ニ於テ九萬何千人アル、其ノ中一萬人ハ現在缺員ニナツテ居ルト云フヤウナ御説明デアツタト私記憶シテ居ルノデアリマスガ、ソコデ私ハ内務大臣ガ數ト云フコトニ依ツテ御答ヘニナツタ所ニ、非常ニ不滿ヲ感ズルノデアリマス、終戦後日本ノ思想界ノ混

亂、「インフレーション」ノ結果起キテ居ル所ノ非常ニ澤山ノ犯罪ガアルコトハ、是ハ内務大臣ハ御承知ノコトダト思ヒマス、現ニ私ハ自分ノ周圍カラ見マシテ、現在ハレテ居ル犯罪ハ殆ンド強盜竊盜ト云フモノガ頻々トシテアルノデアリマス、而シテ其ノ中本當ニ檢舉サレ、而シテ犯罪トシテ確實ニ取上ゲラレタモノハ、恐ラクハ其ノ中ノ幾「パーセント」ニ過ギナイト思フノデアリマス、隨テ治安ヲ維持サレテ居ルト仰シタル大臣ノ御言葉ハ、私共ニシテ惡口ヲ言ハシメルナラバ、ウノ「ドン・キホーテ」式ノ御考ヘデアリナイカ、寧ろ治安ハ徹底的ニ紊レテ居ルノデアリマス、成程其ノ紊レル原因ハ、今中上ゲルヤウニ終戦後我々國民ガ目標ヲ失ヒ、而シテ道德心ガ破壊サレ、醇風美俗ガ毀レタト云フコトガ大キナ原因デアリマセウ、隨テ之ヲ直チニ今ドウシヨウト云フコトハ出來ナイノデアリマセウガ、兎モ角モ一方ニ於テ取締ガ嚴重デアリ、或ハ「ツ」ノ犯罪ガ出來タ時ニ於テ、其ノ犯罪ガ檢舉サレルカラバ、分ラスト云フコトガ一番惡イノデアルカラ、私ハ罰スルト云フ意味デ言ツテ居ルノデアリナイノデアリマスガ、本當ニ犯罪ガ檢舉サレルナラバ、犯罪ト云フモノハ或ル程度減ルモノト思ヒマス、所ガ今中上ゲルヤウナ事情カラ見ルト、日本ノ治安ト

云フモノハ徹底的ニ紊レテ居ルノデアリマス、而シテソレガ唯僅カニ今日ハ進駐軍ノ御指導ト御援助ニ依ツテ、所謂M・Pノ力ニ依ツテ日本ノ治安ノ一部ガ保タレテ居ルト云フコトハ爭ハレナイ事實デアル内務大臣モソレヲ御認メニナツテ居ルト思ヒマス、併シサウ云フコトハ我々ガ苟モ獨立人トシテ立ツ上ニハ決シテ立派ナ道デハナイ、私ハ寧ろ警察官ノ數ガ全體デ九萬人デ、其ノ中一萬人ノ缺員ガアルト云フ唯頭ノ數ニ於テサウ云フコトヲ御考ヘニナツテ居ルカラ、面白クナイト云フ理由ハ要スルニ如何ニ大勢ノ警察官ガ居テモ、ソレガ無能ノ者デアツタナラバ如何ナルコトガ出來ルデアリマセウカ、恐ラクハ今日ノ時代ノヤウニ警察官ノ素質ノ變ツテ居ルコトハナカウツデアリマセウ、外ハイザ知ラズ、我々ノ知ツテ居ル範圍ニ於テモ恐ラクハ高等小學卒業程度ノ者ガ警察官ニ何時デモ採用セラレテ居ル、ソレガ果シテ、單純ナコトヲ云フナラバ道路ノ交通整理モ完全ニ出來ルカドウカト思フヤウナ怪シガナ警察官ガ澤山居ル時代ニ、今中上ゲタヤウニ内務大臣ハ治安ヲ維持ハ大丈夫ダト云フヤウナコトヲ仰シタルハ、甚ダ私ハ遺憾ダト思フ、ソレデハ勿論豫算トモ關係ガアリマス、隨テ此ノ税制ニモ關係ガアルカラ、私

ハ申上ゲルノデアリマスガ、現在
一萬人ノ人間ガマダ採用サレテ居
ナイトスルナラバ、其ノ者ニ對ス
ル採用ヲ如何ニ御考ヘナサルカ、
私ハ率直ニ簡單ニ申上ゲルト、是
ハ大臣ノ御意見ヲ聽カヌデ、私ノ
意見ヲ述ベルコトハ失禮デスガ、
簡單ニ申セバ、昨日ノ朝ノ新聞ニ
出テ居ルヤウニ、大學ヲ卒業シタ
ケレドモ職ガナイト云フヤウナ人
ガアツタ場合ニ、ソレヲ警察官ト
シテ採用スル意志アリヤ否ヤト云
フコトデアリマス、私ハ本當ニ能
ク知ツテ居ルノデアリマセヌ
ガ、私ノ聞イタ所ニ依リマス、
「アメリカ」ニハ警察官ノ採用ニ
ハ「ツノヤカマシ」規定ガアルサ
ウデアリマス、ソレハ先ヅ以テ大
學ノ卒業生デ身ノ丈何尺、目方ハ
幾ラト云フコトガ警察官ノ採用ノ
一ツノ規定ニナツテ居ルノデアリ
マス、サウ云フ警察官デアルナラ
バ、勿論學問ノアル者ガ必ズシモ
正シイト云フノデアリマセヌ
ガ、少クトモ普通教育以上ノ教育
ヲ受ケテ居ル、而シテ體格ハ立派
デアルト云フヤウナ警察官ガ採用
サレタナラバ、本當ニ警察ノ自治
化ト云フコトガ私ハ出來ヤウト思
フ、今ノ警察ハ、永イ間ノ私ノ經
驗カラ申上ゲルノデアリマスガ、
是ハ民主ノ警察デハ絶對ニナイ、
官僚ガ自分ノ權力ヲ振フ爲メノ警
察デアリマス、サウ云フヤナ警察
ガ今後民主化ノ警察ニナルト云フ

コトハ、私ガ今申上ゲタヤウニ、
優秀ナ警察官ヲ採用スルト云フヤ
ウナコトニ於テ初メテ私ハ行ハレ
ルト信ズル者デアリマス、私ハ數
ガ何萬アルガ故ニ日本ノ治安ハ保
テルノダト云フヤウナ「ドン・キ
ホーテ」式ノ考ヘ方ハ此ノ際捨テ
テ戴キタイ、今後幸ヒニ御試案ニ
ナツテ居ル所ノ一萬人ノ警察官ト
云フモノハ、最モ優秀ナル所ノ國
民カラ選ビ、而シテソレヲ本當ニ
教育ヲシ、日本ノ警察ノ民主化ヲ
圖ツテ戴キタイ、是ハ私ノ希望ナ
ンデアリマスガ、ソレニ對スル内
務大臣ノ御意見ヲ「御聽キシタ
イ」デアリマス

○大村國務大臣 先日當委員會デ
私御答ヘ申上ゲマシタノハ、小川
原氏ノ日本ノ警察官ハ二萬八千人
デ宜カラウト云フヤウナ點ヲ中心
ニシテノ御尋ネデゴザイマシタノ
デ、主トシテ警察官ノ現在員ノ事
情ヲ御説明申上ゲタ次第デアリマ
ス、併シ只今ノ十萬人足ラズノ警
察力ヲ以チマシテ日本ノ治安ヲ完
全ニ維持スルト云フコトハ中々難
カシイコトデアリマス、唯之ヲ必
要ノ程度ニマデニ數ヲ増加スルコ
トハ色々ノ關係ガアリマシテ、今
日ソレガ出來ナイ事情ニアリマス
ノデ、限ラレタ警察力ヲ以テシマ
シテ、今日警察ノ對象トナル仕事
ハ非常ニ殖エテ居リマスシ、又其
ノ質ガ非常ニ惡クナツテ居ルモノ
デアリマシテ、治安維持ニ付キマ

シテハ中々困難ナ點ガゴザイマス
ガ、今ノヤウナ制約トニ於キマシ
テモ、全警察力ヲ動員致シマシテ
治安維持ニ萬全ヲ期サナケレバナ
ラスト云フ決意ノ程ヲ申上ゲマシ
タ次第デアリマス、國民ノ大多
數、九割五分ト云フヤウナ人ガ悉
ク違法ノ精神ニ徹シテ、三分トカ
五分トカ云フヤウナ少數ノ人ニ不
心得ナ者ガアル、サウ云フ所ニ警
察ガ働クト云フコトニ依リマシテ
治安ノ維持ニ初メテ確保サレルノ
デアリマスガ、我が國ノ社會狀態
ハ遺憾ナガラ其ノヤウナ所マデ行
ツテ居リマセヌ、是ハ國民ノ自覺
或ハ教育ノ違法心ノ作興、色々ノ
方面カラ進ンデ參リマシテ解決シ
タケレバナラス、將來ニ殘サレタ
大キナ課題デアルト思フノデアリ
マス

○小川原委員 ソレデハ植原國務
大臣ニ御尋ネ致シタイと思ヒマ
ス、政府ハ地方制度ノ改革ノ名ノ
ドニ、ソレカラ又此處ニ議案ヲ御
出シナリマシタ所得稅一部改正
ト云フ洵ニ平凡ナ言葉ヲ以テ綴ラ
レテアリマスガ、其ノ言葉ノ蔭ニ
隠レテ國稅モ地方稅モ市町村稅モ
一律ニ大増稅ノ斷行デアリマス、
國稅ガ二十數億、地方費ノソレガ
三十數億、約六十億ニ近イ所ノモ
ノヲ斷行セントスルコトハ、是ハ
國民トシテ最モ注意ヲ喚起シテ宜
イ點デアルト私ハ考ヘルノデアリ
マス、名目ハ何ニ變ラウガ、國
稅ニ變ラウガ、地方稅ニ變ラウ
ガ、出ス所ノモノハ國民ノ懷一ツ
デアリマス、此ノ外ニ何ニモナイ
ノデアリマス、其ノ上ニ町内會

ハ申上ゲルノデアリマスガ、現在
一萬人ノ人間ガマダ採用サレテ居
ナイトスルナラバ、其ノ者ニ對ス
ル採用ヲ如何ニ御考ヘナサルカ、
私ハ率直ニ簡單ニ申上ゲルト、是
ハ大臣ノ御意見ヲ聽カヌデ、私ノ
意見ヲ述ベルコトハ失禮デスガ、
簡單ニ申セバ、昨日ノ朝ノ新聞ニ
出テ居ルヤウニ、大學ヲ卒業シタ
ケレドモ職ガナイト云フヤウナ人
ガアツタ場合ニ、ソレヲ警察官ト
シテ採用スル意志アリヤ否ヤト云
フコトデアリマス、私ハ本當ニ能
ク知ツテ居ルノデアリマセヌ
ガ、私ノ聞イタ所ニ依リマス、
「アメリカ」ニハ警察官ノ採用ニ
ハ「ツノヤカマシ」規定ガアルサ
ウデアリマス、ソレハ先ヅ以テ大
學ノ卒業生デ身ノ丈何尺、目方ハ
幾ラト云フコトガ警察官ノ採用ノ
一ツノ規定ニナツテ居ルノデアリ
マス、サウ云フ警察官デアルナラ
バ、勿論學問ノアル者ガ必ズシモ
正シイト云フノデアリマセヌ
ガ、少クトモ普通教育以上ノ教育
ヲ受ケテ居ル、而シテ體格ハ立派
デアルト云フヤウナ警察官ガ採用
サレタナラバ、本當ニ警察ノ自治
化ト云フコトガ私ハ出來ヤウト思
フ、今ノ警察ハ、永イ間ノ私ノ經
驗カラ申上ゲルノデアリマスガ、
是ハ民主ノ警察デハ絶對ニナイ、
官僚ガ自分ノ權力ヲ振フ爲メノ警
察デアリマス、サウ云フヤナ警察
ガ今後民主化ノ警察ニナルト云フ

シテハ中々困難ナ點ガゴザイマス
ガ、今ノヤウナ制約トニ於キマシ
テモ、全警察力ヲ動員致シマシテ
治安維持ニ萬全ヲ期サナケレバナ
ラスト云フ決意ノ程ヲ申上ゲマシ
タ次第デアリマス、國民ノ大多
數、九割五分ト云フヤウナ人ガ悉
ク違法ノ精神ニ徹シテ、三分トカ
五分トカ云フヤウナ少數ノ人ニ不
心得ナ者ガアル、サウ云フ所ニ警
察ガ働クト云フコトニ依リマシテ
治安ノ維持ニ初メテ確保サレルノ
デアリマスガ、我が國ノ社會狀態
ハ遺憾ナガラ其ノヤウナ所マデ行
ツテ居リマセヌ、是ハ國民ノ自覺
或ハ教育ノ違法心ノ作興、色々ノ
方面カラ進ンデ參リマシテ解決シ
タケレバナラス、將來ニ殘サレタ
大キナ課題デアルト思フノデアリ
マス

○大村國務大臣 先日當委員會デ
私御答ヘ申上ゲマシタノハ、小川
原氏ノ日本ノ警察官ハ二萬八千人
デ宜カラウト云フヤウナ點ヲ中心
ニシテノ御尋ネデゴザイマシタノ
デ、主トシテ警察官ノ現在員ノ事
情ヲ御説明申上ゲタ次第デアリマ
ス、併シ只今ノ十萬人足ラズノ警
察力ヲ以チマシテ日本ノ治安ヲ完
全ニ維持スルト云フコトハ中々難
カシイコトデアリマス、唯之ヲ必
要ノ程度ニマデニ數ヲ増加スルコ
トハ色々ノ關係ガアリマシテ、今
日ソレガ出來ナイ事情ニアリマス
ノデ、限ラレタ警察力ヲ以テシマ
シテ、今日警察ノ對象トナル仕事
ハ非常ニ殖エテ居リマスシ、又其
ノ質ガ非常ニ惡クナツテ居ルモノ
デアリマシテ、治安維持ニ付キマ

シテハ中々困難ナ點ガゴザイマス
ガ、今ノヤウナ制約トニ於キマシ
テモ、全警察力ヲ動員致シマシテ
治安維持ニ萬全ヲ期サナケレバナ
ラスト云フ決意ノ程ヲ申上ゲマシ
タ次第デアリマス、國民ノ大多
數、九割五分ト云フヤウナ人ガ悉
ク違法ノ精神ニ徹シテ、三分トカ
五分トカ云フヤウナ少數ノ人ニ不
心得ナ者ガアル、サウ云フ所ニ警
察ガ働クト云フコトニ依リマシテ
治安ノ維持ニ初メテ確保サレルノ
デアリマスガ、我が國ノ社會狀態
ハ遺憾ナガラ其ノヤウナ所マデ行
ツテ居リマセヌ、是ハ國民ノ自覺
或ハ教育ノ違法心ノ作興、色々ノ
方面カラ進ンデ參リマシテ解決シ
タケレバナラス、將來ニ殘サレタ
大キナ課題デアルト思フノデアリ
マス

○小川原委員 ソレデハ植原國務
大臣ニ御尋ネ致シタイと思ヒマ
ス、政府ハ地方制度ノ改革ノ名ノ
ドニ、ソレカラ又此處ニ議案ヲ御
出シナリマシタ所得稅一部改正
ト云フ洵ニ平凡ナ言葉ヲ以テ綴ラ
レテアリマスガ、其ノ言葉ノ蔭ニ
隠レテ國稅モ地方稅モ市町村稅モ
一律ニ大増稅ノ斷行デアリマス、
國稅ガ二十數億、地方費ノソレガ
三十數億、約六十億ニ近イ所ノモ
ノヲ斷行セントスルコトハ、是ハ
國民トシテ最モ注意ヲ喚起シテ宜
イ點デアルト私ハ考ヘルノデアリ
マス、名目ハ何ニ變ラウガ、國
稅ニ變ラウガ、地方稅ニ變ラウ
ガ、出ス所ノモノハ國民ノ懷一ツ
デアリマス、此ノ外ニ何ニモナイ
ノデアリマス、其ノ上ニ町内會

費、部落會費、隣組費、衛生費或ハ學校費、客附金、其ノ他一切ヲ集メルト洵ニ大ナ支出ニナリマシテ、一面カラ見マスル所苛斂誅求ノ謗ガアルト思フノデアリマス、玆ニ於テ政府ハ出ズル本ヲ制スル行政整理ノ斷行ヲ圖ラウト云フ御意思ガアルカナイカト云フコトヲ御聽キンタイト思フノデアリマス、私ノ考ヘル所ニ依ルト、敗戦ニ依リマシテ財界ハ全ク混亂致シテ參リマシタ、産業ハ萎縮致シテ取ルベキ國民ノ收入ハ枯渴致シマシテ、徵稅數ハ非常ニ衰ヘテ、其ノ上國民ノ思想ガ弛緩シテ働クダケノ勇氣ガナクナツテ來テ、何處カノ屬國ニ居ルト云フヤウナ氣持ヲ持ツテ居ルノデアリマス、此ノ時ニ大増稅ヲ斷行シヨウト云フカラニハ、一面ニ於テハ政府トシテモ行政整理モシ、眞劍ニ國ヲ再建スルノダ、ソレデ此ノ増稅案モ八千萬國民ノ爲ニ出テ來タノダ、是ナラバ國家再建ニ關シテ我々國民モ協力シヨウト云フノデ、全國民ガ感奮興起シテ納稅ノ義務ヲ完了シヨウト云フ氣持ニナルト思フノデアリマス、政府ハ政府トシテ納稅技術ヲ以テ、是ハ何「パーセント」徴レバ國民ノ懐ロガドウナル、コ、ノ所ハ率ガ低イカラコ、ヘ持ツテ、是ダケノモノ持ツテ來テ調整スルト總額ハ何千萬圓デアラカドウダ、ソナコトハ末ノ末ノコトデアリマス、ソナコト

ニ國家ガ多額ノ金ヲ出ス必要ハ何モナイ、之ヲ斷行シテ行クノガ政治ノ眼デナケレバナラスト思フ、サウ云フ小刀細工ヲシテ税金ガ納メラレナイトソレニ對シテ差押ヲ致シマス、差押ヘタカラト云ツテ、病人ガ泣イテ居ルノニ夜其マデ割イデ之ヲ競賣ニ付スル、子供ノヤウナコトヲシテ國家ガ得タトシテ居ル、コンナコトデ國家ノ再建ガ出來ルモノカドウカ、大増稅デモ宜シイ、國民ガ我々八千萬ガ居ナケレバ日本ノ再建ハ出來ナイト云フ眞ノ叫ビデナケレバ、日本ノ國家ノ將來ハ非常ニ心配ダト思フノデアリマス、寧ロ今日考ヘルト云フト、科學文化、教育文化、學問文化色々ナ文化ガ採入レノレマシタ、明治維新ノヤウナ氣概ガ藥ニ煎ジテ飲ミタイト思フテモ何處ニモナイ、人ノ前ニベコノ頭ヲ下ゲルカラ或ル人ハ言ツタ、日本人ハ人ノ前ニ來ルト頭ヲ下ゲテ機嫌ヲ取ルモノダ、斯ウ云フコトガ外國ニ言觸ラサレテ居ルノデスガ、是ハ遺憾デアリマス、私ハドウシテモ財政整理ヲ斷行シテ行クニハ、一ツ思切ツテ國民ノ肯ケル所ノ斷行ヲヤツテ貰ヒタイト思フ、其ノ私ノ考ヘル案ハ何デアラカト申シマス、今マデノヤウニチビ／＼トセツテ居タノデハ、財政整理ヲシタノカ何デアツタノカ分ラナイノデアリマス、例ヘバ五人藏ツテ其ノ蔭デ十人入レテ見タ

リ、何ノコトダ、サウ云フコトデハイケマセムカラ、内閣總理大臣ノ下ニ直屬シタ各省首長ニ互ツタ行政機構ノ整理、行政事務ノ簡捷敏速、行政官ノ整理、行政費ノ整理其ノ他色々アリマスガ、是等ヲ一括致シマシテ行政整理廳トムフモノヲ新設致シテ、サウシテ審議會ヲ設ケテ貰フ、其ノ委員ニハ民間カラモ簡拔セラレテ敏速ニ實行セラレル意思ガアルカナイカヲ伺ヒタイ、斯ウ云フ行政整理ヲ斷行シテ、先ヅ國民負擔ノ輕減ヲ圖ツテ、國民ニ適正ナ納稅ノ義務ヲ完遂セシムルコトガ喫緊事デアル、私ハ斯様ニ信スルノデアリマスガ、直屬ノ行政整理廳ト云フモノヲ御設ケニナルカドウカ、其ノ御意思ヲ御伺ヒ致シタイ次第デアリマス

○植原國務大臣 小川原君ニ御答

ヘ致シマス、現在内閣審議會ナルモノガアリマシテ各省ノ連絡ヲ圖ツタリ又統一ヲ圖ツタリ出來ルダケ改革ヲ致スヤウニ努メテ居リマスガ、御説ノ如ク現在ニ於テ至ル處ニ缺陷ノアルコトハ事實デアリマス、私先刻カラノ質疑應答ヲ能ク伺ツテ居リマシタガ、今ノ御質問ニ對シテ事又明確ニ致シマス爲ニ先刻來ノ地方自治ニ對スル質疑應答ノ間ニ行ハレテ居ルコトヲモウ一步進メテ御答ヘシテ置イタ方が宜カラウト思ヒマス、知事ノコトニ關シテデアリマスガ、具體的ニ言ヘバ一縣下ノ選舉民ガ民選デ選ンダ知事ヲ役人ニシテ置クト云フコトハ何トシテモ論議一貫致シマセム、又趣意モ徹底致シテ居リマセム、是ハ全ク御説ノ通りデアリマス、併シ現在ノ狀態ニ於テハ此ノ内閣ガ成立シテ間モナイコトデアリマス、又終戦後漸ク一年ヲ經過シタ位デアリマス、其ノ間ノ内閣ノ更迭ヤ政治ノ激變、色々ノ國內情勢ノ急變等ニ付テモ十分御承知ノコトト思ヒマス、サウ云フ狀態ニ於テ憲法ハ改正サレ改正ト申シマシテモ現在ノ憲法ハ新シイ憲法ダト思ハレル性質ヲ持ツテ居リマス、此ノ憲法モ只今議會デ審議シテ當然三分ノ二以上ノ貴衆兩院ノ御贊成ヲ得テ通過致スモノト確信致シマス、又サウアラネバナナイト存ズルノデアリマス、其ノ憲法ヲ本トシテノ地方自治ノ改正デアリマス、現在ノ基礎タル所ノ憲法スラマダ成立ノ過程ニアルノデアリマスガ、是ガ成立實行サレル時ノコトヲ豫想シマスナラバ、實ハ急イデ地方自治モ改正シテ置カケレバナラヌ、若シ小川原君ノ理想ヲ申スナラバ本當ニ憲政ノ健全ナル發達ヲ圖リ、之ヲ完成シヨウトスルナラバ、自治制度ノ方ガ一步先ニ行クベキデアリマス、實ハ是ガ遲レテ居ルノデアリマス、故ニ之ヲ憲法ノ改正ト共ニ歩調ヲ合ハセテ行クニハ、ドウシテモ玆デ自治制度ノ改革ヲヤラナ

ケレバナラヌ、ソレト共ニ自治制度ノ總テノ官制ヲ改正スルト云フコトハ不可能デアル、ソレ故ニ知事ハ公選ニスル、其ノ下ニハ今マデノ組織ニ居ル所ノ官吏ガ居ル、其ノ官吏ト民選ノ知事ト步調ヲ合ハセル場合ニ於テ直チニ知事ヲ公選ニシタナラバ或ハソコニ支障ヲ來シタリ行政ノ運用上全カラナイヤウナ事情ガ多クナイカト云フコトハ政治ヲヤル者ノ懸念スルコトデアリマス、是ハ小川原君十分地方自治ノコトニ御關係ガアツテ御承知デアラウト思ヒマス、ソレデアリマスガ故ニ、已ムヲ得ズ民選ノ議員ヲ、一時的過渡的ノモノトシテ行政事務ノ遲滞ヲ生ゼシメナイヤウニ管理致ス、斯ウ云フ譯デアリマス、ソレカラ又現在ノ分與稅ノコトモ御説ノ通りダト思ヒマス、是ハ戰爭中ニ殆ド日本ノ憲政ヲ破壊シテ中央集權ニスル爲ニ作ラレタ所ノ地方分與稅デアリマス、總テ中央カラ津々浦々マデ管理ヲシヨウト云フコトデアツテ、殆ド地方ノ財源スル取上ゲテシマツテ政府ノ手ニ集メテ之ヲ分ツコトニシタノガ現在ノ分與稅ノ形デアリマス、是ハ御説ノ通りデアリマス、何トシテモ自治ヲ許サシタ以上ハ地方ニ財源ヲ與ヘテ、地方ガ其ノ狀態々々ニ應ジテソコノ財源ニ依ツテ其ノ自治ヲヤル、若シ其ノ間ニ不均一ガアツタナラバ、

是ハ中央ノ政治之ヲ矯メルダケ
ダト云フ方式ヲ執ルベキダト思ヒ
マス、サウ云フ状態ニ進シテ行カ
ナケレバ本當ノ地方ノ自治ノ完成
ハ出来ヌト思ヒマス、現在ヤツテ
居リマスコトハ總テ戰後ノ非常ナ
混沌タル移リ變リノ激シイ状態、
民主主義ノ平和國家ヲ建設シナケ
レバナライ過渡的ノコトトシテ
御諒承願ハナケレバナライ、理
想ヲ申セバ小川原君ノ申サレル通
リデアリマス、行政整理ニ付キマ
シテモ丁度只今申述べタ理論ヲ能
ク御諒解下サレバ分ルト思ヒマ
ス、何トシテモ今マデノ如キ日本
ノ官廳ノ組織行政ノ組織デハ、
本當ニ徹底的ノ民主主義平和國家
ノ建設ハ不可能ダト思ヒマス、ソ
コデ新シイ憲法モ出来テ實行サレ
ルヤウニ相成リマス、御承知ノ
通り議會中心ノ政治ガ出来マス、
議會中心ノ政治ト云フノハ國民ニ
依ツテ選バレタ所ノ議員ノ多數ガ
議會ニ於テ可トスル所ノモノヲ以
テ總理大臣ニスル、同時ニ議員多
數ノ承認スルモノヲ以テ國務大臣
トスル、故ニ來ルベキ憲法ノ下ニ
於キマシテハ、中央政府ノ行政機
構ヲ始メ本當ニ議會ヲ中心トシ
タ、立法府ヲ中心トシタモノガ出
來ルノデアリマス、其ノ時ニハ凡
スル方面ニ於テ改革ヲ致サナケレ
バナライト思ヒマス、現狀ノ行
政ヲ出来得ルダケ整理致シタリ、
行政機構ガ統一サレタリ、過剩ノ

役人ハナイヤウニシテ出来得ルダ
ケ政府ノ費用モ節約シテ行キ、國
民ノ負擔モ輕ク致サナケレバナ
ライコトハ御説ノ通りデアリマス
ケレドモ、何ヲ致セ此ノ過渡的ノ
状態、内閣ガ出来テ洵ニ間モナ
イ、是モ敢テ口實ニスル譯デモア
リマセヌケレドモ、次ニ來ルモノ
ハドウカト云ヒマスレバ、次ニ來
ルモノハモウ半歳カ八、九箇月ノ
間ニ議會ヲ中心トシタ内閣ニ依ツ
テ日本ガ支配サレルヤウニナル、
其ノ場合ニハ一切ノ行政機構モ其
ノ趣意ニ依ツテ本當ニ一新サレナ
ケレバナライト思ヒマス、ソレ
マデニハ政府ト致シマシテハ、ソ
レニ成ベク歩調ガアツテ移リ變レ
ルヤウニ出来ルダケ行政モ改メナ
ケレバナライマス、過剩ノ役人
ヲ淘汰モシ、經費モ節約シナケレ
バナライ、又税制ニ對シマシテ
モ、是ハ御同様ニ今マデノ豫算ノ
ヤウナ、國民ガ見テ分ラナイヤウ
ナ豫算ノ編成ハ當然改メナケレバ
ナライシ、國民ヲ基礎トスル内
閣ガ出来レバ、必ず一目瞭然、總
テガハツキスルヤウニ豫算ノ編
成ハ根本的ニ改メラレルモノト私
ハ信ジテ居リマス、又税制モ、成
程日本ハ殘念ナガラ負ケマシタ、
實ニ今日何レノ方面ヲ見テモ國民
ノ大多數ハ虚脱状態、道義ハ頹廢
シテ居ル、何處ニモ緊張味ノナ
イ、唯負ケタト云フヤウナ状態デ
アリマスレドモ、此ノ状態デ

ハドウシテモ日本ノ立直リハナラ
ナイ、活ヲ入レテ國民ヲ生返ラセ
ナケレバナライ、ソレガ最近ニ
於テ大藏省ナドデ心配シテ居ル所
ノ軍需補償ノ打切りヤ色々ノ問題
デ、是ハ隨分強イ方法デアリマス
ケレドモ、私ノ言葉ハ總テノ政府
ノ關係ノ言葉ニ適スルカ適セヌカ
知リマセヌケレドモ、私ハ自身此
ノ問題ヲ斯様ニサヘ解釋シテ居
ル、慢性的ニ此ノ體デ行ケバ腹下
シカ胃弱デドンナニナルカ分ラナ
イ、コ、デ、ツ、蕪麻子油ヲ掛ケ
テ、サウシテ根本治療ヲヤツテ、
生キルモノヲ成ベク生カシテ、サ
ウシテソレニ活ヲ入レテ、總テノ
産業經濟ノ再建ヲ圖ラウトスルノ
ガ目下政府ノ考ヘテ居ル行キ方ダ
ト思ヒマス、サウ云フモノヲ前ニ
致シテ居リマスルガ故ニ、アナタ
ノ御希望ノヤウナ財政ノ根本整理
ヲ致シタクモマタ其ノ立場ニ行カ
ナイノデアリマス、御説ハ洵ニ御
尤モデアリマシテ、假令斯様ナ状
態ニ於テモ出来ルダケ節約スルモ
ノハ節約シテ、國民ノ負擔ヲ輕ク
スルト共ニ、行政ヲ成ベク統一シ
テ無駄ノナイヤウニ、過剩ノ役人
ハ整理致シ、サウシテ今マデノヤ
ウナ官僚式ノ「セクシヨ」ナリズ
ムノヤウナモノヲ廢シテ、成ベク
統一シタモノヲヤラシタイト思
ツテ、内閣ニ審議會ノヤウナモノ
ヲ作ツテ居リマス、是モ全部満足
ノモノトハ申サレマセヌケレド

モ、私共ノ願ツテ居ル所ハ本當ニ
議會中心ノ政治ガ行ハレルヤウニ
ナツテ、サウシテ國民ノ意思ガ徹
底スルヤウニナルコトデ、ソレマ
デニ旨ク其ノ繁キガ出来マスルヤ
ウニト云フコトヲ考ヘテ、一切ノ
處置ヲシテ居ルコトヲ御諒承下サ
イマシタナラバ、政府ノ立場モ十
分御諒解下サルモノト思ヒマス
○小川原委員 御親切ニ御話ニナ
リマシテ、能ク分リマシタガ、私
ハ近キ將來ニ斯ウ云フ整理ガ斷行
サレルモノデアルト云フコトヲ承
知致シマシテ、ソレデ宜シウゴザ
イマスカ
○植原國務大臣 只今申上ゲル通
リ新憲法ガ行ハレルヤウニナリマ
シタナラバ、議會ノ多數ノ主張ス
ルコトハ凡スル方面ニ於テ必ず實
現サレルト思ヒマス、サウ云フ時
期ガアリマスノニ、只今ノヤウナ
狀態デ直ガ行政モ財政モ根本的ニ
整理致シマシテモ、ソレト又バツ
ガ合フカ合ハナイカト云フコトヲ
考ヘルコトモ大切ナコトダト思ヒ
マス、目標ハ御説ノ如キ所ニ置カ
ナケレバナライナガ、新憲法ノ行
ハレルマデニアナタノ言フヤウナ
コトガ現在ノ政府ニ於テ、其ノ趣
意デハ進ミマスルケレドモ、實現
サレルト云フコトハ一寸申上ゲニ
クイ、目標ハサウ云フ理想ニ置イ
テ進ミタイト思ツテ居リマス、斯
ウ御諒解ヲ願ヒタイノデアリマス
○小川原委員 ソレデ大臣ニ對ス

ル質問ハ終リマシタ
○苦米地委員長 小川原君ニ一寸
御諮り申シマスガ、太田君カラ總
理大臣ノ出席ヲ求メラレテ居リマ
ス、ヤハリ植原國務大臣ニ質疑ヲ
タツタ一點ダサウデスカラ御許シ
致シマス
○太田(鐵)委員 唯一點ダケ極ク
簡單ニ御質問申上ゲマス、植原國
務大臣ハ我々ノ大々先輩トシテ政
治ニ參畫スルコト二十數年、我々
ハ此ノ大々先輩タル所ノ植原國務
大臣カラ非常ニ大キナ御教ヘヲ戴
イテ非常ニ感謝致シテ居リマス、
唯茲ニ國務大臣トシテ、一ツノ省
ニ執著シテ居ルモノデハナク、國
務大臣トシテ國務全般ニ互ツテ居
ラレルソデアルカラ、因ハレナイ
立場ニ於テ植原國務大臣ノ御考
ヘ、御心持ヲ伺ハシテ戴クナラバ
ソレデ宜シイト思フノデアリマス、
今ヲ去ル大正年間ニ於ケル米
騒動ノ起ツタ頃カラ、或ハ米相場
ガ安クナツタ途ニ海外ニ「ダンビ
ング」ヲヤツテ、甚シキニ至ツテ
ハ減反ヲスル、或ハ瀬戸内海ヘ持
ツテ行ツテ米ヲ流スト云フヤウナ
大キナ歴史ヲ經テ今日ニナツタコ
トハ既ニ御承知ノ通りデ、國務大
臣ノ所屬シテ居リマス所ノ政黨ニ
於テモ此ノ問題ニ深ク、關心ヲ
持タレ檢討サレタコトヲ記憶致
シテ居ルノデアリマス、所ガ幣原
内閣ノ當時食糧問題ニ對シマシテ
米ノ不足ノ爲ニ各方面カラ色々悲

鳴ガ上リ、消費者方面カラ悲鳴ガ上ツタ時ニ專賣ヲ考ヘテ居ルト云フヤウナコトガ新聞ニ見エタノデアリマス、其ノ根ガ張ツテ居ルノカドウカ分リマセヌケレドモ、丁度今月四日ノ毎日新聞ニ現ハレテ居ル所見マスト正ニ米ノ專賣制ヲ布カントスル準備行爲ニ相當スルモノデナイカ、デアルカラ今日ハ國務大臣ニ對シテ私ノ御聽キシタイノハ米ヲ專賣ニスルト云フヤウナ御考ヘガ内閣ニアリヤナシヤヲ御尋ネ申上ゲル、此ノ米ノ專賣ニ付テハ私カラ申スマデモナク、此ノ新聞デ見マスト現在三萬四千ノ食糧検査員、其ノ他補助検査員十九萬、二十幾萬ノ検査員ヲ殖ヤス、サウシテ農家個々ノ名簿ヲ拵ヘ、サウシテ二筆、一枚毎ニ反別、種類、稻ノ分、其ノ高サ、反粒マデヲ調べルト云フヤウナコトガ書イテアツタ、是ハ農林省カラ出テ居ルコトニ違ヒナイ、幣原内閣ノ時ニ其ノコトガ出タケデモ農民ハドウデアツタカ、本當ニ増産ト云フモノハ減退スル、眞ニ増産ノ心持ガ起ツテ來ナイ、幣原内閣ガ倒レテ現内閣ニナリマシテ、專賣ト云フヤウナコトモ餘リニ宣傳サレナクナツタノデ、農民モ稍々安堵ノ傾向ニアリマス、サウシテ植原國務大臣ノ能ク御承知ノ、又親シイト思ヒマスガ、東武先生ニ私ハ二十四年間モ仕ヘテ色々農村問題ノ研究モシ、話モ聽

イテ居タノデアリマスガ、專賣制ト云フ問題ハ中々容易ナコトデナイト云フコトヲ能ク聽イテ居ツタノデアリマス、農民ノ生産意欲ノ減退ガ今日ノ日本ノ食糧ヲ斯クモ困難ニ陥レタ原因ニナツテ居ルノデアリマス、何レノ土地デモ戰時中ハ出來ナイコトヲアレヤレ、是モヤレト政府ノ云フ言葉ヲ聽イタ所謂模範農家、精農家ト云フモノハ今日悉ク貧ニ窮シテ耕作モ出來ナイ事情ニアル、今度主税局長ノ御話ヲ聽キマス、農家ノ守護神タル本當ノ農具、足ノ爪ヲ一寸切ツテモ働クコトノ出來ナイ、或ハ屠殺シナケレバナラナイヤウナ馬マデモ財産ニ見積ツテ、財産稅ヲ課税スルト云フコトデアリマスガ、飲食店ノ皿ヤ井ナラ少シ位缺ケテモ用ヲナシマス、一體馬ト云フモノハ、一寸怪我ヲシテモ働クコトガ出來ナクナツテシマフ、年ニ一度若馬デ買ツテ行クノナラバ財産ニモ見積ラレマセウケレドモ、是ガ年デモ取ツタノナラバ一年ト價格ガ下ツテ終ヒニハ屠殺シテモ買手ガナクナル、サウ云フヤウナモノマデ財産ニ見積ツテ稅ヲ課セルト云フヤウナコトハ非常ニ農民ノ神經ヲ尖ラセルノデアリマス、政府ノ施策ハ斯クノ如キモノデアラウカ、供出制度ニシテモサウデアアル、私ノ所ハ北海道ノ山奥デアリマスガ、青年ガ供出ト云フヤウナ戰時中ニ用ヒラレタ言葉

ヲ其ノ儘使ツテ居ル、斯様ナ言葉ハ農民ノ解放ニアラズシテ飽クマデモ農民ヲ奴隸扱ヒニシテ居ル言葉デアルト云フ聲ガ澎湃トシテ起ツテ居ルノデアリマス、其ノ爲ニ神經ガ非常ニ尖ツテ居ル、且ツ青年ハ左様ニ考ヘルモノデアリマス、此ノ時ニ於テ一體稻ノ穗ニ幾粒著イテ居ルカ、大キナモノハ二三百粒或ハ三百粒著イテ居ル、其ノ三百ノ中ニモ大キイノアリ小サイノアリ、或ハ中ニハ全然實ノナイモノモアル、又何本分農シタカマデ調べル爲ニ二十幾萬ノ食糧ノ検査員ヲ殖ヤシテ、百姓ニ毎日々々アノ調査、此ノ調査ト云ツテ行カレタナラバ、丁度普通ノ家ノ箒箒ノ中カラ毎日物ヲ出シテ調べラレルノト同ジデアル、其處マデ行ツタナラバ絕對ニ増産ト云フコトハ期シ得ラレナイ、益々隱サウノト云フ氣分ニナル、サウシテ多ク作ツタ者ニハ其ノ主食糧ダケ殘シテアトハ出ス、隨テ供出ノ割當モ違ツテ來ルト云フコトヲ聞イテ居リマス、私ハ北海道ニ行ツテ農地ヲ開拓スルコト四十七年、此ノ通リノ手ニナツテ働イテ居リマスガ、百姓ハ愚イノト言ハレマシテモ、又如何ニ苦勞シテモマダ何トモ言ハナイ人ノ良イ所ガアル、雨ガ降ツタ、オ祭りガ來タ、正月ガ來タ、吹雪ガ來タト云フ場合ニハ、蕎麥ダ饅頭ダ、餅ダ、赤飯ダ、斯ウ云フモノヲ作ツテ家

團樂シ、隣リ家マデヤリ取りシテ樂ム、是ガ農村ノ唯一ノ樂ミデアリマス、其ノ樂ミマデ全部取ツテシマフコトハ如何ナモノデアリマスカ、農民ニハマダノ純情ガアリ美德ガアリマス、此ノ時ニ餘所カラ人ガ來タナラバオ前モ食ベロト出ス、サウシテ成ルベク人ニ喜シデ貰フコトガ本當ノ百姓ノ氣持デアル、今日商工省ハ色々境界價格ヲ設ケテ價格ヲ上ゲテ居ル、此ノ頃北海道ハ米ガ足りナイノデ新潟縣ニ行キマシタガ、新潟ハ金物ノ産地デアアルカラ聽イテ見タ所ガ、鎌ガ一挺二十五圓、チョット良イノハ三十五圓デス、此ノ鎌ガ如何デスカ、元ハ米一俵ニ對シテ七、八十乃至百挺買ヘタノデアリマス、所ガ今日五挺デ百二十五圓デス、境界價格カ何カ分ラヌケレドモ、サウ云フモノヲ使ツテ百二十圓ノ米ヲ出サナケレバナラヌ、甚シキニ至ツテハ此ノ頃農林大臣ハ五百圓生活ヲ考ヘテ此ノ相場ヲ決メタト云フ、斯様ナコトハ正ニ失言デアリ本當ニ許スベカラザル點デアル、マルデ國民ヲ瞞著シテ居ル、サウシテ又二十萬ノ検査員ヲ殖ヤスト云フ、今ヤ農村ハ自治的検査ニ乗出サウトシテ居ル、所ガ之ヲ更ニ逆ニ殖ヤサウト云フコトヲヤツテ居ル、斯様ナコトヲヤツテモ減産ニコソナレ増産ニハ絶對ナラナイ、植原國務大臣ハ本當ニ我々ノ大先輩トシテ農村問題、

或ハ一般社會問題ヲ十分御承知ノコトデアリ、政治ノ動向ハ如何ナルモノデアアルカト云フコトヲ十分御承知デアリマスガ、農村トシテハ今度米ガ專賣ニナルノデアリナイカト云フコトヲ考ヘテ居ル、無論專賣ヤルトスレバ米カラ先デアリマセウ、米其ノ他ノ出荷ニ對シテハ本當ニ良心的ニ、官僚的割當デナク壓迫迫害ヲ加ヘナイ所ノ總テノ制度ニ置キ換ヘ、サウシテ農民ガ良心的ニ自治的ニ之ヲ出シ得ルヤウナ方法ヲ講ジテヤル、是ハ大先輩ニ對シテ洵ニ失禮デゴザイマスケレドモ、馬ヲ使ヒマスルノニ朝馬小屋ニ行ツテ馬ノ轡ヲ一ツモ轡ツテゴランナサイ、決シテ其ノ日ハ田圃ニ出テモ馬ハ能ク動カナイ、馬車ヲ挽カセル時モ、出掛ケニ馬ヲ怒ラセテ決シテ、其ノ日ハ言フコトヲ背カナイ、況ヤ我々人間ガ頭カラコナシ付ケラレ、拘束サレ、此ノ澤山ノ法律ノ爲ニ殆ド全身ヲ縛ラレテ、獲ツタモノハ其ノ儘供出、或ハ強權ノ發動、斯ウ云フコトデドウシテ巧ク行キマスカ、此ノ頃農林省ノ行動ヲ見マスト、今マデヨリ更ニ役人ヲ殖ヤシ、官僚ノ強化ヲ圖ラウトシテ居ル傾向ガ十分ニ見エラルノデアリマスガ、是等ノ點ニ對シテ國務大臣ノ御考ヘヲ承リタイト思ヒマス

○植原國務大臣 閣内ニ居リマシテ私ノ承知シテ居ル範圍ニ於テ

ハ、米穀ノ國營ナドト云フコトヲ考ヘテ居ルコトヲ何處カラモ承知致シテ居リマセヌ、新聞ニドウ云フ記事ガアリマシタカ存ジマセヌガ、内閣ニ於テハ米ダサウ云フ問題ガ話題ニ上ツタコトモナシ、又誰ノ口カラ出タコトモアリマセヌ、ダカラ其ノコトハ只今マデ絶對ニナイコトト御承知ヲ願フテ宜シイカト思ヒマス、ソレカラ農民ノ心理ノコトヲ色々御話戴キマシタガ、私自身農家ニ生レタ人間デアリマスカラ、可ナリ農業ノコトモ承知シアリ居リマスシ、農家ノ心理狀態モ知ツテ居リマス、只今馬ノ話モアツタケレドモ、私ノ郷里長野縣アタリデハ馬ヲ皆軍馬ニ連レテ行カレシマツテ、今デバ農家ニ於テ馬モナイヤウナ憐レナ實情デアリマス、肥料モナク、馬モナイ、堆肥ヲ作りタクテモ肝腎ノ馬ガ居ラヌト云フヤウナ狀態デアリマス、何レニシテモ日本ノ國內デ産スル所ノ主要食物デハ今日日本ノ國ヲ賄フコトガ出來ナイ、ソコデドウシテモ全農家ノ方ニ本當ニ時局ヲ理解シテ快ク働イテ戴イテ、將來ニ希望ヲ持ツテ行動致シテ、協力シテ戴カナレバナラナイ、左様ニ致シテコソ初メテ日本ノ國民ニ絶對ニ必要ナダケハ聯合國ノ同情ヲ得テ輸入スルコトガ出來ルト思ヒマス、聯合國ノ御同情ト御援助ガナケレバ、絶對量ハ不足ナ狀態デアリマスカラ、ナン

トシテモイケナイノデアリマスカラ、ソレヲ得ルニ致シマシテモ出來ル限リ日本ノ國民ガ總テ快ク出シテ、ソレヲ凸凹ノナイヤウニ配給シテ、サウシテ農民ノ方ハ希望ヲ持ツテヤツテ行ク、今ノ御説ナド洵ニ其ノ通りダト思ヒマス、祭ガアリ祝ガアル時ニハ近所ノ者ニモ自分ノ作ツタ物ヲ振舞フ、親戚ガ聚タ時ニハ喜ンデソレヲ食ベサセルト云フノガ農家ノ本當ノ樂シミノツグト思ヒマス、ソレ等ノコトモ十分考慮シテ供出シテ戴キ、將來ニ希望ヲ持ツテ、サウシテ國民ガ其ニ力ヲ合ハセテ行ク、モウ一番難カシイノハ今年、來年ダト思ヒマス、ソレヲ起エレバ又樂ニナモルト思ヒマスカラ、敗戦後ノ一、二年、此ノ危局ハ何トカシテ皆心ヲ合ハセテ、不足勝ツデアリマススケレドモ、國民ガ精一杯協力シテ出ス物ヲ出シテ、サウシテ公平ニ分配スレバ、聯合國ニ於テモヨリ以上ノ御同情ヲ下サツテ御援ケ下サルコトト私ハ信ジテ居リマス、ニソレハコナラノ態度デアリマス、ソコラノコトハドウカ皆様方精々此ノ時局ヲ御諒解下サツテ、殊ニ農民ノ中ニ居ル方ハ本當ニ農民ト共ニ心ヲ合ハセテ此ノ窮局ヲ御援ケ下サランコトヲ切ニ御願ヒ致ス次第デアリマス

○**太田鐵**委員 サウシマス、現内閣内ニ於テハ米ヲ專賣ニシヨウウト云フヤウナコトハ今マデハナイ譯デアリマスカ
○**植原國務大臣** 左様ナコトヲチツトモ聞イテ居リマセヌ、寧ろ閣内ニ於テハ左様ナコトハ今マデハ絶對ニ聞イテ居リマセヌ、左様ニ御承知ヲ願ヒマス
○**苦米地委員長** 大藏大臣ガ見エマシタガ、最初保留サレテ居リマシタ植原君ガゴザイマスカラ
○**植原委員** 主税局長ハ今度ノ稅制ハ劃期的ナ稅制デアツテ、國民ハ是非協力シテ呉レト云フヤウナ御話デゴザイマシタガ、私カラ見マス、今度ノ稅制劃期的ナ惡稅デハナイカト思フノゴザイマス、憲法ガ劃期的ニ善ク改正サレマシテ、國民ハ本當ニ明ルクナツタノデゴザイマス、ソシテ憲法ニ從ツテ刑法、民法ナドモ劃期的ニ善イモノニナラウトシテ居リマシテ、ヤツト明朗ナ、感じニナリマシタ所、此ノ稅制ニ依ツテ又一度ニベ不安ニ怯エテ居ルノデアリマス、先日來勤勞所得稅ガヒドイ、此ノ儘デハトモモ生活シテ行カレナイ、苛斂誅求ト云フヤウナ言葉サヘモ同僚ノ議員ノ方達ガ皆シナ言ツテイラツシヤルノデアリマスケレドモ、之ニ對スル主税局長ノ御答ヘハ、何時モ是ヨリ仕方ガナイト云フヤウナ譯デ、ドウニモ歩ミ寄ルコトガ出來ナイノデアリマスケレド、私ハ憲法ガ劃期的ニ善イ

モノデアツタヤウニ、此ノ稅制モ劃期的ニ良イモノデアツテ、國民ヲ本當ニホツトサセ、更生サセテ戴キタイト思フノデアリマス、例ハバカシナ例デスケレドモ、戰時中ノ重稅ニ、丁度満員電車ニ押込メラレテヤツテ來タ者ガ、停車場降りテホツトスルヤウナ生キ返ツタ氣持ニサセテ戴キタイノデアリマシテ、ソレニハ何トシテモモツト免稅點ヲ引上げ、ソシテ人當リノ控除額ヲモウ少シ引上げテ戴キタイト思フノデアリマス、巷ニハ此ノ稅ニ對スル怨嗟ノ聲ガ滿チテ居リマス、若シモ其ノ聲ヲ無視シテ、ソシテ之ヲ強行致シマスナラバ、ドノヤウナ事態ガ起ツテ來ルカト甚ダ憂慮サレルト思フノデアリマス、例ヘバモウドウシテモ納メラレナイデ氣ノ小サイ人ナラバ神經衰弱ニナルヤウナ所ヘ持ツ來ラレルデアリマセウシ、又勞働組合ナドノ方面デハ滯納同盟トカ、不納同盟トカ作ラウトシテ居ルヤウナ氣配サヘアル、是デハ財界ハ混亂シマスシ、國民生活ノ秩序ハ破壞サレルト云フヤウナコトニナツテシマヒマスノデ、何トカシテ此ノコトヲ、民ノ聲ヲ御聽キ下サツテ、考慮シテ戴ケナイモノデアリマセウカ、御伺ヒシタイト思ヒマス

○**石橋國務大臣** 此ノ問題ハ今御言葉ノ中ニモアリマシタヤウニ、再三再四御尋ネガアリマシテ、其ノ都度私共ノ考ヘラ申上ゲテ居ル譯デアリマス、甚ダ素氣ナイ返事ノヤウニ聞コエマスガ、結論カラ申上ゲマス、理論的ニモ、實際的ニモ何トモナラナイ、是ハハツハ勤勞所得稅ト云フモノニ對スル、稅制ニ對スル誤解ガ手傳ツテ居ルト思フノデアリマス、生活ノ困難ト云フコトハ、是ハ又別問題デアリマス、是ハ賃金俸給、物價其ノ他ノ間ニ均衡ヲ缺クモノガゴザイマシテ、ソコデ種々ナル生活上ノ不安ヲ生ジテ居ル、同時ニ又根本的ニハ日本全體ノ生産ガ減リ、資材ガ減ツテ居ル、即チ國民ノ生活水準ガ殘念ナガラ總テ低下シナケレバナラヌト云フ基本的事實ノ上ニ、更ニ物價、賃金其ノ他ノ今マデノ制度ノ關係上、戰時以來ノ關係上、平衡ヲ得ナイ點ガゴザイマシテ、ソレ等ガ國民ノ生活ヲ特ニ壓迫シテ居ルモノト私ハ考ヘルノデアリマス、是ハ一面ニ於テ出來ルダケノ増産ヲシ、同時ニ種々ナル價格ノ間ノ不均衡ヲ訂正スルコトヲヤラナケレバナラヌト考ヘテ居リマス、サウ致シマスレバ今ノ困難ト云フモノハ無論切抜ケ得ル譯デアリマス稅ノ問題ハソレトハ又別箇デアリマシテ、無論稅ヲ出セバ、ソレダケ出ス人ガ負擔ニナルコトハ言フマデモアリマセヌケレドモ、併シ是ハ此ノ場合國民ノ成べく廣イ範圍ノ人達ガ、何ガシカノ稅ヲ負擔スルト云フコ

トデアリマシテ實ハ此ノ稅其ノモ
ノノ理想カラ申シマスレバ、免稅
點ヲ餘リニ切上ゲルト云フコト
ハ好マシクナイノデアリマス、是
ハ稅ヲ徵ルト云フ意味デハナク、
皆ガ直接稅ヲ負擔スルト云フ意味
カラ好マシクナイ、殊ニ日本ノヤ
ウニトノ方ノ納稅者ト云フモノガ
非常ニ少ク、即チ「ビラミット」
型ノヒドイ日本ノ經濟狀態ニ於キ
マシテハ、成ベク多數ノ人ニ、其
ノ代リ出來ルゲ稅率ヲ低クシテ
負擔ラシテ貰フト云フコトガ、是
ガ正シイ行キ方ト、此ノ前モ申上
ゲマシタヤウニ、考ヘル譯デアリ
マス、若シモ是ガ源泉課稅ノ所得
稅ト云フモノガ、勤勞所得ダノ、
事業所得ダノ、資産所得ダノト云
フ寧ろ入組ンダ、又親切ニ過ギタ
制度デナク、一本ノ源泉課稅デア
レバ却テ問題ガ起キナカッタデハ
ナイカト思フ位デアアルノデアリマ
ス、現在ノ稅制ト致シマシテハド
ウシテモ勤勞所得稅ヲ廢メルト云
フコトガ出來ナイ、又此ノ免稅點
ヲ此ノ春五十圓カラ二百圓ニ切上
ゲタ、其ノ上ニ之ヲ更ニ切上ゲル
ト云フコトモマダ時期デナイ、斯
ウ云フ風ニ考ヘル譯デアリマス、
尙ホ一部ノ勞働組合方面等ニ納稅
ヲ忌避スル運動ガアルト云フコト
デアリマスガ、是ハ非常ニ遺憾至
極ノコトデアリマス、ドウカ此ノ
稅ノ本質及ビ今ノ日本ノ經濟界ノ
體ミノ本質ヲ諒解サレテ、左様ナ

運動ガ起ラヌヤウニ願ヒタイノデ
アリマス、尙ホ併シ分類所得稅ハ
源泉課稅デアリマスカラ、實ハ技
術的ニモ納稅ヲ阻ムト云フコトハ
困難デハナイカトモ考ヘテ居リマ
ス、同時ニ是カラ企業整理ニ因ツ
テ、非常ニ殘念ナコトデアリマス
ガ、失業者ガ現レル、是ハ是デ何
等カノ手ヲ加ヘナケレバナラナイ
ノデ、之ニ苦心ヲ致シテ居ル次第
デアリマスガ、其ノ場合ニ幸ニシ
テ職場ニ其ノ僅殘ツテ居ル勤勞者
諸君ガ若干ノ所得稅ニ依ツテノ負
擔ヲセラレルト云フコトモ亦至當
デハナイカト云フ風ニモ考ヘル次
第デアリマス、ドウカソレ等ノ點
ノ疑惑或ハ誤解、私ハサウ考ヘ
ルノデスガ、誤解ヲ一掃サレルヤ
ウニ御努力ヲ願ヒタイノデアリ
マス

○補原委員 大藏大臣ノ御答ヘハ
只今承リマシタガ、實際今日ハ稅
金ニ收入ノ大部分ヲ持ツテ行カレ
ルヤウナ現狀デアリマス、政府ハ
此ノ際何處マデモ税金ニ依ツテノ
ミ財政ヲ賄ハウトシテイラツシヤ
イマスガ、ソレニ依ツテ賄ヘマス
カ、來年ハ補償ノ打切リト云フコ
トモナシ、財產稅モ入ラナイト云
フコトニナリマスガ、ソレデ財產
稅ノミニ頼ツテ此ノ財政ヲヤツテ
行ケル御確信ガアリマスカドウカ
御伺ヒ致シタイト思ヒマス

○石橋國務大臣 本年度ノ豫算ハ
御覽ニナリマシタ通り、殘念ナガ

ラ租稅ダケデハ賄フコトガ出來マ
セヌ、廣イ意味ノ專賣收入ナドヲ
入レマシテモ賄フコトガ出來マセ
ヌデ、財產稅ヲ繰入レナケレバナ
ラナイ、財產稅ヲ繰入レルト云フ
コトハ、言換ヘレバ赤字公債ヲ出
スノト經濟的ニハ大部分違ハナイ
ト云フコトハ、本會議デ私カラ率
直ニ申上ゲタ通りデアリマス、來
年度ノ財政ハ歲出ノ整理ヲ致シタ
イト考ヘマス、是ハ出來ルダラウ
ト思ツテ居リマス、同時ニ稅制ノ
改革モ行ヒタイ、斯様ニ考ヘテ居
リマシテ、此ノ歲出ニ付テノ研究
モ、又稅制ニ付テノ研究モ、貴衆
兩院就中衆議院ノ諸君ノ御協力ヲ
得テ一大調査會ヲ起シテ何等カノ
立案ヲ致シタイ、斯様ニ考ヘテ居
ル次第デゴザイマス

○補原委員 私ハ來年度ノ豫算ガ
本年度ヨリ少クナルト云フヤウナ
樂觀ハ出來ナイト思ヒマス、是ニ
於テ政府ハ税金ニノミ頼ルコトナ
ク、何等カ國民ノ爲ニナル事業ヲ
御起シニナル御考ヘハナイカ、ソ
レニ依ツテ官業失業者ナドヲソチ
ラヘ持ツテ行クト云フヤウナコト
モ出來ルデアラウト思ヒマス、例
ヘバ「ロシヤ」ノ例デ、是ハ當嶽
マラナイカモ知レマセヌガ、曾テ
ハ高イ「ウイスキー」ヲ國ニ於テ
發賣シタリ、又ハ飲食店ヲ國家ガ
經營シタヤウナコトモゴザイマス
ガ、其ノヤウナ例ハ見エ角ト致シ
マシテ、此ノ際何等カ税金以外ニ

財源ヲ求メテ、何トカシテ税金ノ
負擔ヲ輕クシテ戴キタイト思フノ
デアリマス、國民ハ決シテ税金ヲ
負擔スルコトヲ厭ヤダトハ言ツテ
居リマセヌケレドモ、モウ少シ何
トカシテ貰ヒタイト云フ希望ガア
ルノデアリマス、例ヘバ此ノ際私
鐵等ヲ國營ニ移スヤウナ御考ヘハ
アリマセヌカ、國鐵ガ赤字デア
ルト云フコトニ付テハ私ハ納得出來
ナイノデアリマス、ソレハ只今運
輸大臣ガイラツシヤイマセヌカ
ラ、一應國鐵ガ赤字デアルト致シ
マシテモ、地方ノ私鐵ト云フモノ
ハ只今ボロイ儲ケラシテ居ルノデ
アリマス、ソレデ鐵道ノ如キ國民
皆ニ依ツテ利益ノ上ルモノハ、其
ノ利益ハ國民ニ還元サレルベキデ
アリマスシテ、是ガ國營ニ移サレ
ルナラバ、ソレガ出來ルノデアリ
マス、又私ハ此ノ際戰災重要都市
ヲ國家ガ買上グルベキデハナイカ
ト思フノデアリマス、勿論道路其
ノ他公共的建築物、或ハ綠地ナド
ノ民有地ヲ買上ゲヨウトスレバ莫
大ナ費用ガ要ルノデアリマスカ
ラ、例ヘバ東京都三十五區等ヲ買
上ゲマシタナラバ、都市計畫ス
ル上ニ於テモ自由闊達ニ出來ルト
思ヒマスシ、ソレニ依ツテ現ニ燒
ケナイデ住ンデ居ル建築物カラハ
地代ガ入ツテ來ルト思フノデアリ
マス、此ノ際デアレバ皆何等カノ
形ニ於テ國民ハ犧牲ヲ拂ツテ居
ルノデアリマスカラ、地主モ納得ス

ルデアラウト思フノデアリマス、
補償ノ打切トカ、又ハ引揚者、復
員者、戰災者等、色々ナ意味ニ於
テ皆等シク犧牲ヲ拂ツテ居ルノデ
アリマス、ソレデ政府ニ於キマシ
テハ特別公債ノ如キモノヲ發行致
シマシテ、サウシテソレニ依ツテ
地代ヲ取り、或ル意味デハ通貨ヲ
吸收スルコトガ出來ルノデアリマ
ス、斯クテ大衆課稅アル物品稅
ノ如キヲ百分ノ百トカ、百分ノ二
百トカ云フ非常識ナ課稅ノ仕方ヲ
止メテ、百分ノ二十トスル、サウ
スレバ只今十圓ノモノニ對シテソ
レガ税金ニ依ツテ二十圓ニナツテ
居ルノヲ、百分ノ二十トスルナラ
バ十二圓ト云フ風ニ、ソレガ「イ
ンフレ」ヲモ大キナ程度ニ於テ抑
ハラレルノデハナイカト思フノデ
アリマス、又肥料ノ如キニ致シマ
シテモ、農家ニダブ付イテ居ルオ
金ヲ吸收スル策ト致シマシテモ、
農民ニ半分出資セセ、又政府ガ半
分出資シテ、サウシテ肥料會社ヲ
政府ガ經營スルト云フコトニナリ
マスルト、是モ「インフレ」ヲ抑
ヘルツノ途トナル、又ソレニ依
ツテ農作物等モ良クナルデアラウ
ト思ヒマス、更ニ電力ナドモ中々
儲カル事業ダト云ヒマスカラ、產
業ヲ興スト云フ政府ノ建前カラモ
電力、石炭ノ如キモノハ是非國營
ニ移シテ戴キタイ、サウシテ又銀
行ノ如キモ本當ハ補償打切ノ際ニ
之ヲ國營ニ移スノデナケレバ意味

ガナイト思フノデアリマス、私ハ或ル意味デハ第二封鎖ナドト云フノハ多クノ國民ノ犠牲ニ依ツテ金融機關ヲ保護スルモノデアルトサヘ思フノデアリマス、サウシテサウ云フ金融機關ハ更ニ産業資本ト結付キマシテ、其ノ産業資本ヲ保護スルヤウナコトニナル、是ガ今ノ政府ノ欺瞞ニ滿チタリ方ノヤウニサヘ思ハレルノデアリマス、銀行ヲ私有ニシテ置キマスコトハ必ズシモ國民ノ爲ニナラナイ、國家ノ爲ニモナラナイ、唯私腹ヲ肥ヤスヤウナ産業資本ト結付クトムフ變ヒガナクハナイノデアリマス、只今モ同僚委員ノ方ガ、米ガ專賣ニナリハシナイカト云ツテ心配シテイラツシヤイマシタガ、今マデ國民ハ末梢的ナ、法律的ナ、形式的ナ統制ニ縛ラレテ二進モ三進モ動クコトガ出來ナカッタノデアリマスケレドモ、斯ウ云フ重要産業ノ如キモノヲ國營ニ移シ、其ノ大キナ重要ナ點ニ於テシツカリト實質的ニ統制シテ置キマシテ、アトハ自由奔放ニ、民主的ニ任セタナラバ、國民ハモットノ明朗ニ活動スルコトガ出來ルノデハナイカト思フノデアリマスガ、此ノヤウナ點ニ付テ大藏大臣ノ御所見ヲ御伺ヒ致シタイト思ヒマス

難ダト思ヒマス、要スルニ炭礦トカ、銀行ナドヲ國營ニシタラドウカ、ソレカラ「ウキスキ」ノヤウナモノヲ非常ニ高ク賣ツテ、ソレノ收入ニ依ツテ一面ニ於テ、減稅ヲシタラドウカト云フ御意見ノヤウデアリマスガ、所得稅ノ減稅ガ出來ル程ニ色々ナモノヲ高ク賣ルト云フコトニナリマス、ヤハ一方ニ於テハ大衆課稅ニモナリマセウシ、マア織カニ酒トカ煙草トカ嗜好品ニ付テ高ク賣ル、是ハ現ニ日本ニ於テモ、今年度モ煙草ノ如キハ非常ニ高イ稅金ヲ課シテ居ルヤウナ譯デアリマス、無論サウ云フヤウニヤラレルモノハヤツテ宜シイノデアリマスガ、ソレニ依ツテ所得稅ヲ減稅スルト云フヤウナ所マデハ中々參ラナイト存ジマス、ソレカラ電車ノ公營トカ、炭礦ノ公營トカ云フヤウナコトモ此ノ委員會デアツタカ、他ノ委員會デアツタカ中上ゲマシタヤウニ、例ヘバ道路ガズツト大昔ハ私有物デアツタノガ公有ニナツタト云フヤウナ譯デ、社會公共ノ廣イ福利ニ關係致ス所ノモノハ、段々公營、國營ニナルト云フ傾向ヲ持つテ居ルコトハ明白デアリマス、ハダカラ日本ニ於テモ鐵道ノ如キハ、歴史ヲ中セバ色々ノ關係ガアリマスガ、兎ニ角國營ニ依ツテ營業レテ居ル、電氣ノ如キモ公營等ニ依ツテ營業レテ結構ダラウト思ヒマス、併シ差詰ハドウカト申シ

マス、國有鐵道ハ赤字デアアル、是ハモウ間違ヒナク赤字デアリマス、是ハ大整理ヲシナケレバ此ノ赤字ヲ克服スルコトガ出來ナイ、地方ノ鐵道ノ如キモ、儲カツテ居ルモノモアルカモ知レマセヌ、全部ハ分リマセヌガ、併シナガラ最近ノ勞賃ノ値上リ、ソレカラ色々ナ資材等ノ入手難ト云フヤウナコトカラ、大體ニ於テ交通機關ハ皆經營困難ノヤウデアリマス、サウ云フ譯デアリマスカラ、差詰ノ問題ト致シマシテハ、是等ヲ國有ニシタカラト云ツテ國家ノ歲入ガ増スト云フコトハ一寸望ミガナイノデアリマス、其ノ他色々御意見ハ有難ク承ツテ置キマスガ、左様ナ譯デ直グニ御意見ノヤウナコトヲ實行スレバ、今ノ財政ガ處理出來ルトハ私ハ考ヘテ居リマセヌ

○**辯原委員** 私ガ「ドイツ」ノ例ヤツレカラ「ロシヤ」ノ例ヲ示シタコトハ、ホンノ一例デゴザイマシテ、モット何カ國民ノ爲ニナツテ、而モ國民ガ喜バヤウナ方法ニ依ツテ、財源ヲ求メルコトヲ御考ヘニナラナケレバ、ドウシテモ駄目ダト私ハ思ツタノデアリマス、私鐵ノ利益ノ程度其ノ他ニ付テハ、私ハ之ヲ管轄デアル運輸大臣カラ後刻書面ニ於テデモ伺ヒタイト思ヒマスガ、唯鹽ト煙草ノ專賣ニ於テサヘモ六十九億力ノ收益ガアルノデアリマスカラ、若シ私鐵ノ利益ナドガアルモノヲ買收致シマシタナラバ、可ナリノ程度國民ノ稅ノ負擔ヲ輕クスルコトガ出來ルモノデハナイカト思ヒマス、殊ニ産業ノ振興ト云フヤウナコトカラ考ヘマス、ドウシテモ斯ウ云フ重要産業トカ銀行トカ云フモノハ國營ニ移スベキダト云フコトヲ思フノデアリマス、先程國務大臣ノ植原サンガ、今菟麻子油ヲ服マセテサウシテ元氣ヲ回復サセナクテハナラナイト云フヤウナコトヲ仰シヤイマシタガ、斯ウ云フ點ニ於テこそ一大決心ヲ以テ斷行ナサラナケレバ、百年ノ大計ガ立タナイノデハナイカト思フノデアリマス、殊ニ重要戰災都市ノ土地ヲ買上ゲルト云フコトハ、此ノ際デナケレバ二度ト決シテ行フコトハ出來ナイト思フノデアリマス、又私ハ地代ナドニ於テモ燒ケ殘ツタ所カラハ相當入ツテ來ルノデハナイカト思ヒマス、ソレガ必ズシモ稅ノ負擔ヲ輕クスルコトガ出來ル程多イトハ大藏大臣ハ仰シヤラナイカモ知レマセヌガ、可ナリ控除スルコトガ出來ルト思フノデアリマス、御所見ヲ御伺ヒ致シタイト思ヒマス

○**石橋國務大臣** 土地國有論ト云フモノハ昔カラアリマシテ、殊ニソレノ有力ナ主張者ハ「ヘンリー・ジョージ」デアリマシテ、土地ヲ國有シテ其ノ經濟上ノ地代ト云フモノヲ全部國家ニ回收スレバ、總テノ稅ヲ止メルコトガ出來ルト云フ非常ニ有名ナ議論ハ、昔「アメリカ」デ立テラレタ、是ハ或ル意味ニ於テ其ノ通りデアリマシテ、日本ニ於テハ寧ロ地代ヲ忘レテ居ル、農村アタリノ問題デモ地代ヲ忘レテ居ルノガ、私ハ就中日本ノ社會主義ノ缺點ダト思ツテ居リマス、ダカラ土地ノ國有ヲナシ、サウシテソレ等ノ地代ヲ悉ク國家ニ收得スルト云フコトハ、私ハ理論トシテハ正シイ御主張ダト思ヒマスガ、ソレデハソレガ今直チニ實行ガ出來ルカト云フト、土地國有ト云フコトハ中々大問題デアリマス、之ヲドウ云フ形デ買收スルカト云フヤウナコトハ、今度ノ農地法ノ僅カナア、云々自作農ヲ作ルト云フコトデサヘモ、中々容易デハナイノデアリマスカラ、私ハ理論トシテハ賛成デアリマスガ、實際ノ政治トシテ今右カラ左ニ出來ルトハ考ヘテ居リマセヌ

○**辯原委員** 私ハ「ヘンリー・ジョージ」ノ「シングルのタックス」ト云フ、サウ云フ問題デ土地國有論ヲ唱ヘテ居ルノデハアリマセヌ、斯ウ云フ時期デアリマスカラ、此ノ際ニコソ東京トカサウ云フ重要戰災都市ハ買上ゲテ、サウシテ立派ナ都市計畫ヲスル上カラモ是ガ大切デハナイカ、サウシテソレガ一面ニハ恒久的ナ、有力ナ堅實ナ財源ニナルト云フコトヲ申上ゲテ居ルノデアリマス、私ノ質問ハ、モウ政府ノ方デサウ云フヤ

ウナコトヲナサラウトスル御誠意
ガナイヤウニ思ヒマスシ、先程國
務大臣モ暫定的ナ政府デアルカノ
如キ御答辯ヲナサイマシテ、本腰
ヲ入レテナサラウト云フヤウナ誠
意ノアル所ガ見ラレマセヌノデ、
残念デゴザイマスガ此ノ邊デ質問
ヲ打切りマス

○玉井委員 私ノ質問ハ或ハ議論
ニナルト仰シヤルカモ知レマセヌ
ガ、併シ重要ナ問題デアルカラ大
藏大臣ニ是非御聽キシタイノデア
リマス、ソレハ大藏大臣ハ私共ト
違ツテ經濟學者デアリマス、隨テ
殊ニ御聽キシタイノデアリマス
ガ、稅ト云フモノハ轉嫁ト歸著ト
云フ問題ガアルコトハ御承知ノ通
リデアリマス、ソコデ私ガ考ヘマ
スノハ、其ノ歸著ト云フモノハ一
體何處ヘ歸著スルノダト云フコト
ニ付テ政府當局ハ如何ニ考ヘテ居
ルカ、私ニ言ハセマスト稅ノ轉嫁
及ビ歸著シテ行ク形式ヲ見マシ
テ、最後ノ歸著點ハ何處ヘ行クカ
ト云フナラバ恐ラクハ勤勞階級ニ
歸著スルノデハナイカト考ヘル、
是ガ或ハ此處デ私共ト政府當局ノ
意見ノ相違ガ出ル因デアルカモ知
レマセヌ、併シ此ノ點ガハツキリ
シナケレバ、私ハ稅ト云フモノハ
根本カラ誤リヲ生ジテ來ルノデハ
ナイカト思フ、私ニ言ハセルナラ
バ、今日ノ稅ノ大部分ト云フモノ
ハ皆此ノ轉嫁及ビ歸著ノ理論カラ
言ウテ大衆稅ニナツテ居ル、結局

ハ勤勞大衆ガ負擔スルコトニナ
ル、一例ヲ舉ゲルナラバ地租デア
リマスガ、地租ハハ地主、土地
所有者ガ直接納メル稅デアリマ
ス、併シナガラ其ノ地租ト云フモ
ノハ小作料トシテ小作人カラ取上
ゲルノデアリマス、サウスルト唯
地主ガ出シテ居ルノハ一時ノ立替
ニ過ギナイ、サウスルト農民ハ地
租ハ納メテ居ナイガ、小作料トシ
テ納メテ居ル、隨テ轉嫁ト歸著ノ
關係ニナルノデアリマシテ、色々
ノ稅ガ全部サウデアリマス、之ニ
付テ私ハ一々申上ゲマセヌ、大藏
大臣ハ勿論聽カナクテモ分ルト仰
シヤルデアラウカラ、申上ゲマセ
ヌガ、サウ云フ風ニ考ヘタ場合
ニ、私共ハ先ニ申上ゲルヤウニ或
ハ勤勞所得稅ガ高イトカ何トカ云
フコトハ寧ろ今ノ理論ノ基礎カラ
考ヘタ方ガ宜イノデハナイカ、之
ヲ假ニ一八%ヲ二〇%ニシタ、ダ
カラ二%高クナツタ、ダカラ勤勞
所得稅ハドウダト云フコトヲ言ウ
テモ、ソレハ大藏大臣ノ仰シヤル
通り或ハ政府委員ノ方ガ仰シヤル
通り、今日ノ時代ニ於テハ恐ラク
ハ勤勞所得稅全部ヲ廢止スルト云
フコトハ出來ナイデアリマセウ、
ダカラセメテ此ノ二割ノ増率ヲス
ルト云フコトハ止メタラドウカト
云フヤウナ議論ノ建前ハ、私ガ今
申上ゲル通り、所謂轉嫁ノ理論ニ
依ルト、色々ナ稅金ガ上ツテ居ル
ガ故ニ、其ノ結果ハ全部今ノ勤勞

大衆ニ課カルノダト云フコトヲ私
ハ申上ゲテ見タイノデアリマス、
是ハ私ガ申上ゲタノハ一ツノ農民
ノ例ヲ言ウタノデアリマスガ、所
ガ今マデノ委員會ニ於ケル政府當
局ノ答辯ノ大體ヲ申シマスト、私
ハ所謂胡麻化シデアルト思フ、其
ノ胡麻化シハ稅ノ問題ト生活ノ問
題ハ自ラ違フ問題デアル、斯ウ云
フコトヲ仰シヤル、一應サウモ言
ハレマセウ、併シ要スルニ生活ヲ
スルト云フ問題ニナルト、ソコニ
勞働賃金ノ問題ガ出テ來マス、勞
働賃金ハ何カト云ヘバ勞働力ヲ維
持シ、而シテ勞働力ヲ増強スルコ
トニ依ツテ拂ハレル所ノ報酬ナノ
デアリマス、賣ルベキモノハ勞働
力ノミデアリマス、サウ云フヤウ
ナ報酬デアリマス、隨テ其ノ報酬
カラ一ツノ稅ヲ取立テル、其ノ時
ニハ要スルニ皆サンハ勤勞意欲ガ
ナクナルノデハナイカト云フコト
ヲ仰シヤルノデアリマスガ、私ハ
如何ニ勤勞意欲ガアツタトシテ
モ、今申上ゲルヤウニ勞働力ヲ維
持シ増強シテ行ク所ノ收入ガ入ラ
ヌトスレバ、如何ニ勤勞意欲ガア
ルトシテモ勤勞ハ不可能ニナルノ
デハナイカ、ダカラシテ稅ト云フ
モノハ其ノ意味ニ於テ考ヘナケレ
バナラヌノデハナイカ、然ラバ稅
ヲ取レバ食ヘナイ、食ヘナケレバ
勞働爭議ヲ起シテヤレバ宜イデヤ
ナイカト仰シヤルナラバ、私ハソ
レハ暴論デアルト思フ、而シテ今

日ノ色々ノ法制ノ下ニ於テ、經濟
組織ノ下ニ於テ、サウ濫リニ勞働
爭議ハ出來ナイデアリマセウ、ソ
レヲ一ツ御考ヘ願ヒタイ、ソレカ
ラモウ一ツ御聽キシタイノデアリ
マス、サウ云フコトヲ私ガ申上ゲ
テ考ヘタ場合ニ、今ノ轉嫁及ビ歸
著理論ト云フモノヲハツキリ伺ヒ
タイ、是ガ違ツテ居ルナラバ私ノ
議論ハ成立タナイ、併シ私ハソレ
ニ間違ヒナイト思フカラ、之ニ對
スル學者トシテ、或ハ政府當局ト
シテノ大臣ノ御説明ヲ聽キタイノ
デアリマス、ソレニ依ツテ私ノ理
論ガ立テラレル、今日ハ色々ノコ
トヲ聽カウト思ツテ居リマシタ
ガ、時間ガアリマセヌカラ御聽キ
致シマセヌ、此ノ點ダケ一ツ是非
聽カシテ戴キタイ

○石橋國務大臣 稅ノ轉嫁ノ問題
ハ、私モ實ハ專門家デハナイノデ
能ク分ラナイノデスガ、併シ是ハ
御承知ノヤウニ昔カラ中々議論ノ
多いコトデアリマシテ、果シテソ
レガ勤勞階級ニ全部集マルト云フ
コトガ言ヘルカドウカ、私ハ疑問
ヲ持ツテ居ルノデアリマス、併シ
ナガラ兎ニ角稅ハ私ナドノ素人論
カラ考ヘマシテモ、其ノ時ノ謂ハ
バ狀況ニ依リマシテ轉嫁ガ變ツテ
來ルノデアリマシテ、物ノ生産者
ニ課稅ヲスル、其ノ生産者ガ果シ
テ負擔シテシマフカ、ソレトモ其
ノ生産者ガソレヲ被シテ消費者ニ
之ヲ轉嫁スルカト云フコトハ、其
ノ時ノ物ノ需給ノ狀況ニアルモノ
ト考ヘテ居リマス、即チ通俗デ申
セバ物ヲ高クシテモ賣レル時ニハ
稅ハ物ニ被サツテ消費者ニ轉嫁サ
レル、ソシテ其ノ時ノ狀況ガ高ク
シタノデハ物ガ賣レナイト云フ時
ニハ其ノ稅ハ轉嫁サレナイ、ソレ
ト同様ニ勤勞所得稅ナドノ問題
モ、若シ勤勞者ガ増稅ヲ受ケテ所
得稅ヲ拂ハナケレバナラヌ、其ノ
時ノ勞働市場ノ狀況ガ他ニ轉嫁シ
得ル場合ナラバ、ソレガ雇主ニ轉
嫁サレル、現ニ或ル時期ニ於テハ
雇主ニ明白ニ、轉嫁サレタ時期モ
アルノデアリマス、今後ノ狀況ハ
ドウナルカト云フコトハ、ソレハ
今後ノ勞働市場ト申シマスカ、事
情ニ依ル問題デアリマス、サウ云
フ譯デ私ハ一概ニ全部ノモノガ勤
勞階級ニ集マツテ行クトハ言ヘナ
イノデハナイカ、併シ是ハ問題ガ
中々複雑デ、色々其ノ轉嫁ガアツ
チコツチニ行キマスカラ、中々難
カシイ問題デ、ソレヲ嚴格ニ突止
メルト云フコトハモウ少シユウク
リ考ヘテ申上ゲテ見タイト思ヒ
マス

○玉井委員 併シナガラ其ノ理論
ノ根據ハドウデアリマスカ、轉嫁
ト云フモノノ歸著點ハドウ云フ所
ニ行クカ、其ノ時ノ經濟狀態ニ於
テ違フト云フ御意見デアリマセウ
カ、サウ云フコトハ御考ヘニナラ
ナイデセウカ、今モ仰シヤルノデ
アリマスガ、其ノ議論デ、轉嫁出

來ルノダ、歸著スルコトが出来ル
ノダト云ハレタトシテモ、現在ノ
狀態デハ一體税ハドウ云フ風ニ轉
嫁サレテ、ドウ云フ風ニ歸著スル
ノデアルカ、考ヘテ戴キタイ、ソ
レカラモウ一ツ、今言ハレタ所デ
私ハ甚ダ吞込メナイノハ、結局
ハ物ノ價格ト云フモノハ税ヲ加ヘ
タ價格ナシト云フモノハ御考ヘ
ノ根據ノヤウデアリマスガ、勿論
其ノ點ハサウニ違ヒナイ、サウ云
フコトニナルト、要スルニ需要供
給ノ關係ニ依ツテ物ノ價格ト云フ
モノハ違ツテ來ルノダ、物ノ價格
ガ違ツテ來ルノダカラ、時ト場合
ニ依ツテハ違フノダト云フ御説明
ニナルノダト私ハ思フノデアリマ
スガ、サウ云フコトハ私ハ言ヘナ
イト思フ、少クトモ、物ノ價格ト
云フモノハ利潤ノナイ所ニ生
産ガナイコトハ是ハ間違ヒナイコ
トデアリマス、サウスルト利潤ガ
アルト云フコトヲ基礎トシテ御考
ヘニナレバ、恐ラクハ税ト云フモ
ノハ必ズ物ノ價格ニ含マレテ居ル
ノデアリマス、利潤ガナイ時ニハ
生産ガ止マルノデアリマス、生産
ノ止マツタ狀況ガ今日ノ狀況ナ
デアリマス、所謂物ガ不足シテ斯
ウ云フ形が出来上ツタノガ今日ノ
狀況ナノデアリマスガ、サウ考ヘ
テ來ルト必ズ税ハ轉嫁サレルノデ
アリマス、成程仰シヤツタヤウ
ニ、昔カラ色々ハレ難カシイ
理論ダカラ、俺トオ前ヂヤ仕様ガ

ナイト仰シヤレバソレキリデアリ
マスガ、少クトモ現在ノ社會狀態
デハサウ考ヘラレルノデハナイ
カ、サウスルナラバ色々ノ税ガ上
ガラレタ今日ニ於テ、此ノ勤勞大
衆及ビ農民ノ負擔スル税ガ相當ニ
上ツテ居ルノダト云フコトヲ私共
ガ考ヘタ場合ニハ、少クトモサウ
キモ一寸申上ゲタヤウニ、今ノ勤
勞所得ニ對スル税率ト云フモノハ
上ゲル必要ハナイデハナイカ、斯
ウ云フコトヲ私ハ申上ゲテ見タイ
ノデアリマス、所ガサウ云フコト
ヲ暫フト、今ノ財政ノ狀態ニ於テ
ハ是ハ如何トモ仕方ガナイ、斯ウ
簡單ニ仰シヤルデアリマセウガ、
然ラバ現在アナタ方ガ御組ミニナ
ツタ豫算カラ見テ、税ヲ徵ル場所
ガ他ニアルノデハナイカト云フコ
トヲ私ハ指摘シテ見タイノデアリ
マス、私ハ率直簡單ニ申上ゲルノ
デアリマスガ、其ノ場所ハ相續税
ノ關係ニアルト思フノデアリマ
ス、成程相續税ニ於テハ家督相續
税ト遺產相續税ト二ツニ分ケテ居
ル、今日ノ時代ニ於テ一體相續税
ヲ二ツニ分ケル必要ガアルカドウ
カト云フ問題デアリマス、唯、遺
産相續ニ於ケル税率ハ高クナツテ
居ルガ、家督相續ノ税率ハ安クナ
ツテ居リ、而シテ家督相續ノ場合
ニ於テハ最高税率ガ違ツテ居ル、
兎モ角サウ云フ違ヒガアルガ、
體何處ニサウ云フモノヲ分ケル必
要ガアルカ、今日ノ民主主義社會

ニ於テ新シイ憲法ガ制定サレルト
云フ場合ニ於テ、日本ノ家族制度
ト云フモノヲソレ程支持スル必要
ガアルカドウカ、要スルニ家族制
度ハ封建制度ノ遺制トシテ殘ツテ
居ル、ソレガ爲ニ此ノ家督相續税
ト遺產税トガ分レタ原因ニナツテ
居ルト思フノデアリマス、ソナ
モノハ廢メテシマハバ宜イデヤナ
イカ、之ヲ廢メテ唯一本ニシテ、
遺產相續税ト同様ニセヨ、併シ家
督相續税ノ一ツノ特徴トシテ、我
我ノ生活ニ或ル一定ノ根據ト云フ
モノヲ此ノ相續ニ依ツテ保持タイ
ト云フヤウナ考ヘガアリトスルナ
ラバ、其ノ免稅點ハ多少上ゲルト
云フコトヲヤツタ宜イデヤナイ
カ、ダカラ所謂民主主義ガ徹底シ
タナラバ、家督相續制度ト云フモ
ノハ寧ろ廢止シタ方宜イ、サウ
シテ遺產相續税ニ全部持ツテ行ツ
タ方宜イデヤナイカ、ソレデコ
ソ本當ニ民主主義ニ徹底スルモノ
ト私共ハ解釋スルノデアリマス、
税ノ計算モシナイデ私ガサウ云フ
コトヲ申上ゲルノハ失禮デアリマ
スガ、サウスレバソコニ相當ノ税
ガ出テ來ルノデハナイカ、而シテ
又一方ニ於テ遺產相續税ハ一千万
圓以上ヲ超過スル金額ニ於テハ隨
カ千分ノ七百ト云フノガ最低ニナ
ツテ居ルト思ヒマスガ、之ヲ二千
萬圓ノ税率ニマデ持ツテ行クノモ
宜イシ、或ハ又全部ノ税率ヲ上ゲ
テ、最終ニ於テハ要スルニ九〇%

マデモ徵ルダケノ税率ニ持ツテ行
ツタ宜イデヤナイカ、サウスレ
バ濫リニ大キナ金持ハ出來マス
イ、金持ガ出來ナイト云フコトハ
再ビ戰爭ヲシナイト云フコトデア
リマス、一方ニ於テ資產家ガ出來
ルト云フコトハ、一方ニ於テハ貧
乏人ガ出來ルト云フコトヲ意味ス
ルノデアリマスカラ、斯ウ云フ改
革時ニ於テハサウ云フコトモ考ヘ
ル必要ガアルノデハナイカ、サウ
シテ今申上ゲタヤウニ、其ノ税ヲ
取ルコトニ於テ一方ニ於テハ勤勞
所得税ヲ輕減スルコトガ出來ルノ
デデアリマス、モウ一ツハ例ノヤカ
マシイ問題ニナツテ居リマス所ノ
公債ノ利率デアリマス、是ハ一體
何ガ故ニ三分五厘ト云フ利息ヲ今
日マデ維持シテ居ラレルノカ、公
債ノ利子ヲ取ル人ハ一體誰カ、公
債ヲ所有シテ居ルモノハ大部分ハ
金融機關デアリマス、而シテ我々
大衆ト云フモノニハ殆ド公債ノ所
有者ハアリハシナイ、唯我々ハ税
金ヲ拂フ役目ヲシテ居ルニ過ギナ
イ、所謂利息ヲ拂フ所ノ役目ヲシ
テ居ルニ過ギナイ、併シサウ云フ
モノニ對スル利息ヲ全部棒引ラシ
テハ因ルト云フナラバ、利率ヲ下
ゲルト云フヤウナコトニ於テ勤勞
所得税ヲ輕減スルコトガ出來ルノ
デハナイカ、然ルニサウ云フヤウ
ナ點マデ御考ヘニナラヌト云フコ
トハ、今私ガ申上ゲタヤウナ轉
嫁、歸著ノ問題ニ對スル經濟學的

ノ基礎ヲ誤ツテ居ルノデハナイカ
ト云フ氣持ガスルノデアリマス、
隨テ私ノ質問ヲ簡單ニシマスナラ
バ、要スルニ家督相續税ハ遺產相
續税ト同率ニ上ゲル、而シテ最後
ノ免稅點ハモウ少し上ゲテモ宜イ
ノデアリマスガ、額ヲ殖ヤス、サ
ウシテ最後ノ額ニ於テハ九割位マ
デモ取ツタ宜イデヤナイカト云
フヤウナコトニ對スル御當局ノ御
意見、モウ一ツハ公債ニ對スル利
息ノ打切、是ガ行ハレルコトガ出
來ナイダラウカ、ソレガ出來ルナ
ラバ私ハ勤勞所得ハ當然引下ゲル
コトガ出來ルダラウト云フコトヲ
確信スルモノダカラ御意見ヲ伺フ
次第デアリマス

○石橋國務大臣 租稅轉嫁ノ問題
ニ付テハ私ノ申シタコトガ足りナ
イ點ガアリマスガ是ハ措キマシ
テ、只今ノ御質問ノ相續税ノ問題
デアリマス、是ハ二ツノモノヲ一
ツニ合ハセルト云フコトハ尙ホ租
稅ヲ考ヘル場合ニ色々御評議ヲ願
ツテ結構デアリマスガ、併シソレ
ニシマシテモ之ヲ幾ヲ取りマシテ
モソレデ今ノ勤勞所得税ヲ「カ
バー」スルト云フヤウナコトハ到
底出來ナイ、今年度ノ豫算ガ一億
四千六百萬圓デアリマス、サウ云
フ譯デ日本デハ殘念ナガラ大財産
家ガ居リマセヌノデ相續税ト云フ
モノハ殆ド徵レナイ、今ノ税率ヲ
幾ラ高クシテモ殆ド適用スルコト
ガナイ、デスカラ御話ノヤウニ

九〇%ニシテモ、一〇〇%ニシテモ實ハ適用者ガナイト云フ實情デアリマス、況ンヤ今後財産稅等ガ課サレマスレバ、是ガ更ニ少クナル譯デアリマシテ、相續稅ノ問題ハ今後ノ日本ニ於テハ到底問題ニナリマセヌ

ソレカラ公債ノ話デアリマスガ、是ハ先般カラ各所ノ委員會其ノ他デ御答ヘシテ居ルノデアリマスガ、若シアナタガ預金ヲ持ツテイラツシヤルト致シマスレバ、公債ノ利子ハヤハリアナタノ手ニモ入ツテ居ル譯デス、詰リ金融機關ニ九〇%以上國債ハアリマス、殊ニ郵便貯金ニ割合ニ多イノデアリマス、個人ノ手ニ入ツテ居リマスノハ、法人個人ヲ通ジマシテ一割ニハ上ラナイ、本當ノ個人ハ極ク僅カデ、大部分ガ皆郵便貯金其ノ他ノ金融機關、地方ノ農業會ト云フヤウナモノニ入ツテ居ル、ソレハ何ニ依ツテ公債ヲ持ツテ居ルカト云フト、預金ニ依ツテ其ノ公債ヲ買ツテ居ル譯デス、言換ヘレバ預金ノ見返リニナツテ居ル、其ノ公債ノ收入ニ依ツテ預金ノ利子ヲ拂ツテ居ル、無論公債バカリデハアリマセヌ、外ニ貸付金ノ利子ガアリマス、此ノ二ツノモノニ依ツテ預金ノ利子ヲ拂ツテ居ル譯デアリマス、今年度ハ三分五厘ノ公債ヲ一分ニ下ゲタラドウカト云フ話ガアリマシテ、是モ研究シマシタ、年ノ半バカラヤリマシテモ郵

便貯金ノ利子ハ半分ニ下ゲネバナラス、普通ノ銀行ノ預金利子モ三、四厘ニ下ゲネバナラスト云フ結果ニナリマス、斯ウ云フ譯デ預金者ガ公債ヲ持ツテ居ルト云フ風ニ御聽取ヲ願ヒタイ、隨テ公債ヲ打切ルト云フコトハ金融機關ノ貸出ノ方ガ打切ラレマシテ其ノ爲ニ金融機關ノ預金者モ相當ノ迷惑ヲ被ル譯デアリスガ、唯少額預金者ニ迷惑ヲ被ラシテハ此ノ際困リマスカラ、ソコデ先程豫算總會デ中上ゲマシタヤウニ、大體、萬五千圓程度以下ノ預金ハ之ヲ保護スルト云フコトニ建前ヲ執ツテ居リマス、此ノ上ニ國債ヲ若シ打切ルトカ、或ハ利子ヲ拂ハナイト云フコトニナリマスレバ、保護ヲ致サウトスル、萬五千圓以下ノ預金者ニモ亦利拂ヒヲシナイ、或ハ其ノ預金ヲ打切ルトムフ處置ヲ講ジナケレバナラス譯デアリマス、隨テサウ致シマス、折角勤勞所得稅ヲ廢メマシテモ、他方ニ於テ勤勞者ニ預貯金ニ依ツテ損害ヲ與ヘ

ソレハ迷惑ニナラスト思フノデアリマス、例ヘバ今ノ御話ノヤウニ、公債ノ大部分ト云フモノハ金融機關ガ持ツテ居ルノダ、隨テオ前達ノ貯金ガ皆倒レルゾト言ハレルカモ知レマセヌガ、如何セン我ハ倒レテ迷惑ナ程ノ預金ヲ持ツテ居ナイノデアリマス、預金ノ大部分ヲ持ツテ居ル人ハ、公債ヲ持ツテ居ル人ハ持ツテ居ルカ知レヌガ、或ハ又銀行カラ金ヲ借りテ居ル人ハ持ツテ居ルカ知レヌガ、大衆ハ持ツテ居ラナイノデアリマ

我喜ブノデアリマスガ、下ゲナイデ置カレル爲ニ今中上ゲタヤウニ色々税金ガ上ル、成程相續稅ハ一億何千萬圓ニ過ギナイ、ソナモノハ九牛ノ一毛ダト仰シヤルカモ知レヌケレドモ、如何ニ安クテモ一億何千萬圓ハ少クシテモ、正シカラザル稅ヲ正シクシテヤルト云フヤウナ考ヘ方ニ於テハ私ハ宜イト思フ、今中上ゲル公債ノ利息ガ其ノ通りデアリマス、唯倒サレテ困ル者ハ金持デアリマセウ、決シテ預金者ガ困ルノデヤナイ、是ハモウ本會議以來今ノ大藏大臣ノ言ハレルコトデアリマスガ、モウ一歩進ンデ考ヘテ貰ヒタイ、是ハ實ニ重大問題デアル、ソレガイカヌト云フコトニナレバ所謂勤勞者ノ要求シテ居ル勤勞所得稅ノ撤廢ト云フコトハ出來ナイトシテモ私ノ中上ゲルトハ出來ヨウト思フ、隨テ其ノ點ニ對スル御意見ハ今御聽キシタノデアリマスカラ御聽キスル必要アリマセヌガ、唯私ハサウ云フ意見ヲ持ツテ居リマス、又恐ラク澤山アルト思ヒマスカラ能ク御參考マデニ御聽キニナツテ戴キタイト思ヒマス

イト思ヒマス、私ノ建前トシテハ稅ニ依ツテ此ノ敗戦ノ日本ヲ擔ツテ行クコトハ已ムヲ得ザルモノデアルト觀念シテ居リマス、唯其ノ間ニ公平ナル負擔ガ欲シイト言フノデス、ダカラ公平ナル負擔ニ付テノコトヲ理論ヲ離レテ、實際問題ヲ澤山空間ガアリマスカラ、此ノ空間ヲ少シバカリ中上ゲル、此ノ空間ノ中ニハ御承知ノモノモアリマセウガ、或ハ大藏省關係デ御承知ノナイ方モアルカモ知レマセヌ、理論的ニ言ヒマスレバ、私ハ所得稅一本建ノ論者デス、是ハモウ正シイモノデアル、ケレドモ今

是ガ通用シマセヌ、ダカラ所得稅ハ本ト中上ゲルノデナイ、國家ヲ救フト云フ意味ニ於テマダ空間ガアリマス、ソレハ細カイコトト大キイコトトガアリマス、又實行ノ出來ルコトト出來ヌコトトモ混ザツテ居リマスガ、戰爭ヲヤリマス

十二年ノ事變以來國庫ガ相當モノヲ買ツテ居ル、例ヲ舉ゲマスナラバ、一ツノ石炭山ヲ買フニシテモ、右炭ノ出ナイ山ヲ北海道アタリデ四十何坑掘ツテ居ル、殆ド一千萬圓近イモノヲズボツト興發ニ出シテシマフ、サウシテソレハ出ハセヌノデス、サウシテ興發ノ責任者ト賣手ト中ヘ入ツタ者トガ記

百億ト云フ龐大ナ公債ガ殘ツテ居ルナラバ、箇年ニ五十何億ト云フ金ヲ取ラレル、是ハ明瞭デア

○苦米地委員長 ソレデハ十分間ノ御約束デシタカラ布君

巴ニナツテ金ヲ儲ケテ居ル、斯ウ云フモノガ方々ニ無駄ニナツテ居ル、ソレデカラ無駄ノ金ガ金ノアル者ノ手ニソツクリ入ツテシマツ

○玉井委員 私ハ其ノ點ガ議論ガアルト思フノデアリマス、公債ヲ打切ルトコトガ、少額預金者ノ迷惑ニナルト云フ御話デアリマスガ、

○玉井委員 私ハ其ノ點ガ議論ガアルト思フノデアリマス、公債ヲ打切ルトコトガ、少額預金者ノ迷惑ニナルト云フ御話デアリマスガ、

○布委員 モウ殆ド質疑モ最後デアリマシテ、私ハ大キイコトト小サイコトト混ゼノシテ大藏大臣二十分間デスカラ我慢シテ戴キタ

○布委員 モウ殆ド質疑モ最後デアリマシテ、私ハ大キイコトト小サイコトト混ゼノシテ大藏大臣二十分間デスカラ我慢シテ戴キタ

○布委員 モウ殆ド質疑モ最後デアリマシテ、私ハ大キイコトト小サイコトト混ゼノシテ大藏大臣二十分間デスカラ我慢シテ戴キタ

○布委員 モウ殆ド質疑モ最後デアリマシテ、私ハ大キイコトト小サイコトト混ゼノシテ大藏大臣二十分間デスカラ我慢シテ戴キタ

○布委員 モウ殆ド質疑モ最後デアリマシテ、私ハ大キイコトト小サイコトト混ゼノシテ大藏大臣二十分間デスカラ我慢シテ戴キタ

○布委員 モウ殆ド質疑モ最後デアリマシテ、私ハ大キイコトト小サイコトト混ゼノシテ大藏大臣二十分間デスカラ我慢シテ戴キタ

○布委員 モウ殆ド質疑モ最後デアリマシテ、私ハ大キイコトト小サイコトト混ゼノシテ大藏大臣二十分間デスカラ我慢シテ戴キタ

○布委員 モウ殆ド質疑モ最後デアリマシテ、私ハ大キイコトト小サイコトト混ゼノシテ大藏大臣二十分間デスカラ我慢シテ戴キタ

○布委員 モウ殆ド質疑モ最後デアリマシテ、私ハ大キイコトト小サイコトト混ゼノシテ大藏大臣二十分間デスカラ我慢シテ戴キタ

○布委員 モウ殆ド質疑モ最後デアリマシテ、私ハ大キイコトト小サイコトト混ゼノシテ大藏大臣二十分間デスカラ我慢シテ戴キタ

○布委員 モウ殆ド質疑モ最後デアリマシテ、私ハ大キイコトト小サイコトト混ゼノシテ大藏大臣二十分間デスカラ我慢シテ戴キタ

○布委員 モウ殆ド質疑モ最後デアリマシテ、私ハ大キイコトト小サイコトト混ゼノシテ大藏大臣二十分間デスカラ我慢シテ戴キタ

○布委員 モウ殆ド質疑モ最後デアリマシテ、私ハ大キイコトト小サイコトト混ゼノシテ大藏大臣二十分間デスカラ我慢シテ戴キタ

○布委員 モウ殆ド質疑モ最後デアリマシテ、私ハ大キイコトト小サイコトト混ゼノシテ大藏大臣二十分間デスカラ我慢シテ戴キタ

テ居ル、其ノ金ヲ絞リ出ス方法ヲ
一ツ研究シテ貰ヒタイ、私ハ積極
的ニ言ヒタイ、出スモノハ出シタ
ラ宜イ、餘計儲ケタ奴カラハ餘計
徴ルベキダ、サウ云フ不正ハ一ツ
ヤニツデハアリマセヌ、例ガ幾ツ
モアル、ダカラ私ハ廻テ多少斯ウ
云フ風ニ御徴リニナフコトガ本當
デハナイカ、私ハ「フランス」ノ
敗戦ノ時ニモ居リマシタケレド
モ、ソレハ逆算デ以テズツト徴
ツテシマツテ居ル、ソレハ儲ケタ
奴ダカラ徴ルベキモノデアル、サ
ウスルト現在ノミニ拘泥ハラナイ
デ、昭和十二年以來ニ廻ツテ不徳
ナ儲ケヲシタ者、國庫ノ金ヲ出シ
タ者ハ調ベガ付クト思フ、斯ウ云
フ者ヲ頭ニ入レテ戴キテ、所得稅
ヲ擴大シテ貰ヒタイ、サウシテソ
レガ擴大サル、ナラバ他ノ無理ノ
當ツタ方面ハ安クシテ行ク、是ハ
常識ダ、之ヲ一ツ中上ゲル

是ハ御承知デアリマセウガ、生
命保險ニ入リマスノニ封鎖預金ヲ
取出ス、ソレハ一萬ヤ二萬ノ保險
デハアリマセヌ、大キイノハ百萬
ヤ二百萬デアル、サウスルトソ
ナ金ハ動カセヌデハナイカ、サウ
シテ保險會社ハソノナニ高ガアツ
テハ受ケルコトガ出來ヌデヤナイ
カ、ソレヲ方々ノ保險會社ニ持ツ
テ居ル、サウシテ其ノ掛金ヲ封鎖
預金デアツチモコツチモ入レテシ
マフ、私ハ人ヲ擧ゲテ呉レト仰シ
ヤレバ人ノ名前マデ出シマスガ、

サウシテ直グニ解約デス、解約ス
ルト今度金ガ戻ツテシマフ、ソレ
ハ新圓ダカラバツト預金シテシマ
フ、アツチカラモコツチカラモ若
干ヅツ、サウシテ自分ノ預金ヲ大
半捌イタ人ガ數多クアリマス、斯
ウ云フ者ヲ見逃サレテ居ルノヲ知
リツ、カ、私ハ大藏省ニ申上ゲル
ガ、其ノ點ガ私ニモ分ラヌ、ダカ
ラ見逃サレテ居ル者ガアル、詰リ
縛ラレタヤウナ感じデアリ、最モ
縛ツタト思ツテ居ツタ者ニ拔道ガ
アル、其ノ拔道ヲ速カニ塞イデ掛
ラナケレバ、公平ナル税金ノ負擔
ヲ明朝ニヤルコトハ私ハ出來ヌデ
ハナイカト思フ、小サクナリマス
ト家賃デス、家賃ニシマシテモ、
今公定ノ家賃ナドト云フモノハ、
契約ガ出來テ居ルカラ稅務署ニハ
ソレガ通ジテ居ルガ、併シ實際ハ
四倍、五倍デス、私ノ友達ハタツ
タ三部屋借りテ百五十圓拂ツテ居
ル、ソレモ單獨ノ家デハアリマセ
ヌ、是ガ皆家主ニ税金ノ掛ラヌ金
ガ入ツテ居ル、ソレガ全國デス、
一人ヤ二人デナイ、サウシテ部屋
代ニシテモ小サイヤウダケレド
モ、斯ウシタ儲ケハ稅務署ガ之ヲ
詳シク調べルコトガ出來ルカ、サ
ウシテ十分ニ稅ヲ掛ケルコトガ出
來ルカ、ソコラモ一ツ小サイナガ
ラモ、考ヘテ見レバ大キイ計算モ
出マスカラ、是等モ積極的ニ建設
シテ戴キタイ、ソレカラ閣下儲ケ
タト云フヤウナコトハドウカシテ

取扱クト云フコトハ御考ヘデア
ラウト思フカラ、私ハ蛇足ヲ加ヘマ
セヌ、ソレデ、行爲稅デ胡麻化シ
テ居ルノハ小サイ方デスケレド
モ、是ナドモ相當ニ徵ツテ戴クコ
トダト思フ、見込デ徵ツテ戴ク
自由勞働者ガ相當儲ケテ居ル、
大工ガ七十圓八十圓ハ安イ方デ
ス、高イノハ百圓モ取ル、ソレハ
所得稅ヲ拂ツテ居リマスカ、一體
斯ウ云フモノデモ見逃スコトハナ
イト私ハ思フ、サウシテ皆ガ公平
ニ負擔スルコトダト思フ、唯自分
ノ階級ト自分ノ職業ノミヲ守ツ
テ、出サヌコトバカリ考ヘルノハ
國家ノ再建ニハナラヌト思フ、國
家再建ト云フナラバオ五ヒガ有リ
餘ツタ金ハ、高イ金ノ掛カル贅澤
ナ生活ヲシナイデモ、税金ヲ出
スノガ國民ノ義務デアラウト
思フ

相續稅ニシテモ、先程大藏大臣
ノ御話デハ未ダ未ダアルト言ハ
レル、其ノ通りデス、併シ未ダ未
ノ中ニ既ニ早く相續稅ガ風ヲ喰ツ
テ居ル、長男ニ相續サセ、次男ノ
嫁ニモ皆分ケテシマツテ居ル者ガ
アル、人間ノ名前ヲ出セト言ハレ
ルナラバ十數名ノ名前ヲ私ハ出セ
マス、斯ウ云フ風ニシテ皆ガ逃ゲ
道ヲドク、驅足ヲシテ居ル、之
ヲハツ捕ヘテ貰ツテ、サウシテ公
平ナル税金ノ負擔ニ進ンデ貰ヒ
タイ

農家ノコトモ話シタイガ、先程
他ノ委員カラ話シマシタカラ申シ
マセヌガ、此ノ都會周邊ニ居ル農
民ト、田舎ノ山村ニ居ル農民トハ
大變收得ガ違フト云フコトヲ考ヘ
テ、稅ノ建前ヲシテ戴キタイ、詰
リ都會ノ周邊ハ相當徵ツテモ宜イ
ト私ハ思フ、是ハ色々ナ見込ヲ以
テ徵ツテ宜イ

私ハ公平ナ負擔ニ付テノ質問ト
サウ云フコトニ絡ンダ話ヲシタノ
デアリマスガ、今度ハ一ツ希望ヲ
申サシテ戴キタイ、是ハ私ガ所得
稅一本建論者ダカラドウシテモソ
コニ行キマスガ、所得稅調査委員
ガ各町々ニアリマス、所ガ是ガ一
ツ役ニ立タヌ、本當ニ所得稅、
税金ノ分ル者ハ居リハセヌ、ソレ
デヤハリ名譽職トシテ大イニヤツ
テ居リマスガ、併シ斯ウ云フモノ
ニ依ツテ所得稅ヲ決メテ行カレル
コトハ私ハ危險デアルト思フ、ダ
カラ茲ニ一ツノ組織ヲ御願ヒシタ
イ、各階級カラ委員ヲ出シテ、一
町内單位ニ特務的ナ所得稅ノ調査
ヲヤル、是ハ「スパイ」的、軍ノ
特務機關的ト云フト惡イカモ知レ
ナイ、ドウモ言葉ニ困ルノデス
ガ、ソレニ依ツテ人ノ懷ロノアリ
方ヲ、十分ニ實ヲ得ル得ルト云
フ一ツノ機能ヲ作ツテ戴ク、之ガ
爲ニハ相當ノ豫算ヲ組ンデ、多ク
ノ眞面目ナ有能ナ士ヲ置ク、役ニ
立タヌ稅務吏ヲ何ボ御備ヒニナツ
タツテ役ニ立タヌ、ダカラ有能ノ
者ヲ育テ上ゲテ、税金ダケハ公平
ニ行クヤウニ御願ヒシタイ、御願

ヒト質疑ト兩方混ゼコゼニシテ話
シテ是デ約十分ダト思フ、私ハ過
ギタコトハヤラヌ、モウ一人殘ツ
テ居ルラシイガ、ソレデ終リダサ
ウデスカラ、御遠慮シマシテ、大
藏大臣ハ識見ガアルノダカラ、其
ノ高イ識見デ以テ一ツ私ニ參考ニ
ナルヤウニ聽カシテ戴キタイ、之
ヲ以テ終リマス

○石橋國務大臣 色々穴ガアル
コトハ常ニ稅務當局ガ苦心ヲシテ
捕捉シヨウト致シテ居ル譯デアリ
マスガ、實際非常ニ困難デ、是ガ
捕捉ノ十分ニ出來ナイコトハ遺憾
デアリマスガ、尙ホ一ツ色々工夫
ヲ致シマシテ捕捉ヲ公平ヲ保ツ
ヤウニ致シタイト存ジマス、御指
摘ノ點ハ十分參考ニ致シマシテヤ
リタイト存ジマス、ソレカラ所得
稅調査委員ノコトモ、昨日カ一昨
日カ、此處デ他ノ場合ニ問題ニナ
ツタノデアリマスガ、是モ目下研
究ヲ致シテ居リマシテ、今マデノ
所得稅調査委員ヲ強化シテ行ク
カ、ソレトモモウ少シ變ツタ制度
ヲ採ルカト云フコトハ、色々説ガ
アリマシテ、研究ヲ致シテ居ル次
第デアリマス、是等ノコトハ、尙
ホ先程モ申シマシタ何等カノ調査
會ヲ設ケテ、ソレニ依ツテモウ一
度研究シテ見タイト存ジテ居ル次
第デアリマス

○布委員 洵ニ有難ウゴザイマシ
タ、ソレカラ佛印邊リカラ「ト
ロール」船ノヤウナモノヲ盜ンダ

ト云フカ、船ト云フモノハ脚ガ
ア、云フモノデスカラ、色々ニシ
テ南方カラ持ツテ來テ、ソレヲ各
縣デ巧ク許可ヲ得テ自分ノ財産ニ
シテ居ルガ、斯ウ云フモノガ財産
カラ拔ケテ居ル、是等ノ御調査モ
ヤハリ大藏省ノ仕事デヤナイカト
思フノデス、例ヲ舉ゲロト仰シヤ
ツタラ舉ゲマス、人ノ名前デモ舉
ゲマスガ、私ハ其處マデ突込ンデ
會ハヌデモ宜カラウト思フ、ソレ
カラ先程申上ゲタ國庫ノ金ヲ湯水
ノ如ク使ツテ、サウシテソレガ
出モシナイモノヲ出ルト稱シテ、
烟、山ヲ實際鑛區トシテ賣ツタ、
サウ云フ者ニ趣ツテ追錢ヲ徵ルト
云フ御意思ハアリマセヌカ

○石橋國務大臣 是ハ個人デア
ラバ財産稅三月三日現在デ調
査サレテ居ル譯デアリマスカラ、
其ノ財産稅ニ依ツテ稅トシテ取返
シ得ルモノト思ツテ居リマス、ソ
レカラ先程御話ノ船ナドヲ外地カ
ラ持ツテ來タト云フノモ、同様財
産稅ニ掛ツテ來ルモノト考ヘテ居
リマス、ソレカラ財産稅ニ掛ラナ
イモノガ多少アルノデアリマス
ガ、今度ノ補償問題ナドニ絡ミマ
シテ、サウ云フモノニモ氣ガ付イ
テ居リマスノデ、サウ云フモノハ
何等カ之ヲ取返シ方法ヲ致サウト
云フ工夫ヲ今致シテ居リマス、ゲ
レドモ戰時中色々山ヲ賣付ケタリ
何カシテ儲ケタト云フモノハ、大
體三月三日ノ財産稅ノ調査ノ中ニ

入ツテ來ルモノト考ヘテ居リマス
○布委員 例ヘバ樹ヲ買ヘバ宜イ
ト云フノデ、昨年アタリカラドン
ドン樹ヲ買フ、サウ云フ土地ヲ買
ツタラ財産稅ガ課カルト云フノデ
山ヲ買ツタ譯デアルガ、斯ウ云
ノハ御調べガ付キマスカ、是モ御
尋ネテ致シタイ、斯ウ云フコトハ
兎ニ角役人ガ皆教ヘテ居ル、縣ノ
役人ハ知ルノガ早イカラ、斯ウシ
テ置ケア、シテ置ケト知ラヌ奴ニ
教ヘテ山ヲドンノ、買ハセテ居
ル、ソレヲ最後ニ一ツ御尋ネシテ
打切りニ致シマス

○池田(勇)政府委員 昨年來山ヲ
買ツタ人ガオアリナラバ、措置ハ
勿論立木ニ付テモ財産稅ハ課稅致
シマスカラ、財産稅ノ輕減ニハナ
ラナイコトニ相成リマス

○布委員 ソレカラ大藏大臣ガ見
エテ居リマスカラ御尋ネ致シマ
ス、屢ミ聞クコトガアルガ、大藏
大臣ノ口カラハマダ聞カナイノデ
スガ、是ハ少サイ問題デ、川舎ノ
牛一匹ノ問題デスケレドモ、之ヲ
財産稅トシテ御認メニナルノカ、農
具トシテ御認メニナルノカ、一ツ
御聽キシタイト思ヒマス

○石橋國務大臣 是ハ技術ノ問題
デ、私ニモヨク分ラナイノデス
ガ、是ハ無論理論上財産デワリマ
ス、併シナガラ課稅スル場合ニサ
ウ云フモノニ付テノ評價ヲドウス
ルカト云フコトニハ、其ノ牛馬ガ
使ハレテ居ル狀況ニ依ツテ無論手

心ハ行ハレルモノト考ヘテ居リ
マス

○布委員 ソレデハ私ノ質問ハ是
デ打切りマス

○苦米地委員長 小川原君

○小川原委員 モウ御尋ネシナク
テモ宜イヤウデスケレドモ、一應
御尋ネシテ置キタイト思ヒマス
ガ、今牛馬ノ問題ガ出タノデス
ガ、是ハ財産ト見ルベキコトハ至
當タト私モ考ヘマス、併シナガラ
牛馬ヲ稅務署ナリアナタ方ハ消耗
品ト見マスカ、何ト之ヲ見ラレマ
スカ

○池田(勇)政府委員 消耗品ノ一
種ト考ヘナケレバナラヌト思ヒマ
ス、生キ物デゴザイマスカラ、何
時死ヌカモ分リマセヌ、又年齡ニ
依リマシテ價值ガ非常ニ低減シ或
ハ増加スル、斯ウ云フヤウナコト
ガアリマスノデ、普通ノ固定ノ動
産或ハ不動産ト云フヤウナ評價ハ
出來ナイト思ヒマス

○小川原委員 分リマシタ、ソレ
デ私ハ牧場ヲ營シテ居ル者トカ或
ハ牛馬商ヲ營ム者ハ是ハ課稅シテ
宜イト思フ、課稅ノ對象物デア
ル、所ガ農家ニ至リマシテハ消耗
品ト見テ戴キタイ、例ヘバ斯ウ云
フコトデス、馬ノ頭ノ成年期ハ三
箇月シカナイ、タツタ三箇月シカ
置カナイデ、アトハ活動シテ居
ル、リウ云フ實情ニアリマシタ時
ニ、之ヲ財産ダト云フノデ一財
産ニハ違ヒアリマセヌケレドモ、

サウ云ウ背酷ナ馬ノ活動シテ居
ルノニ、ソレヲ次カラ次ト課稅ヲ
サレルト云フコトニナリマスト是
ハ大シタコトニナツテ行ク、ダカ
ラ、財産デアルカラ課稅ヲセヌト
云フ譯ニハ行キマスマイガ、サウ
云フ點モ一ツ稅務署ハ徵稅技術ト
シテ御納得ニナツテ居ラナイト、
唯農家ハ子供ヲ産メバ高イ馬ニシ
テ賣ツテ居ルノダカラ課稅シテ宜
シイト云フヤウナ御考ヘガアルト
スルナラバ、此ノ課稅ニ對シテハ
苛酷デアルト云フ謗リダケハ免レ
ヌト考ヘマスノデ、此ノ點一ツ特
ニ御耳ニ入レテ置キタイ、ソレカ
ラ、勤勞所得ノコトニ付テハ澤山
仰シヤラレマシタケレドモ、茲ニ
一ツ問題ガアツテ參ツテ居リマス
ノデ、是ハ一ツ私茲ニ讀ミマスカ
ラ、能ク御聽キニナツテ戴キタイ
ト思ヒマス、一、現行所得稅法ニ依
ル勤勞所得稅ノ撤廢要求ハ國民ノ
大多數ヲ占ムル勤勞大衆ノ切實ナ
ル叫ビナル事ハ既ニ認識セラレア
ルモノト被存候得共然モ尙ホ再建
國家ノ財政上ヨリ勤勞所得稅ノ課
稅ハ眞ニ不得止トスルモ増稅案ノ
根本意圖ハ負擔ノ公平ニ依リトセ
バ所謂所得階級ニ對シ嚴正ニシ
テ徹底ナル課稅ノ方途ヲ講ゼザ
ル等ハ課稅技術ノ拙劣ナル事ヲ暴
露セルモノニシテ戰時ト變ラザル
源泉課稅ニヨル賦課徵收ノ方法ヲ
續行セントシ更ニ今回ノ稅率引上
ノ如キハ官僚ノ怠慢ニ外ナラズ、

源泉課稅コソ隣組制度ノ利用或ハ
官廳、學校職員ノ援護團體ノ間接
利用ト共ニ現下惡政ノ最大ナルモ
ノトス、由來我が所得稅ハ明治二
十年創設以來其ノ時代ノ經濟狀況
ニ依リテ課稅ノ適正ヲ考慮シ、荷
國民民生活ノ最低階級ニ賦課セラ
レタル如キハ空前ノコトニシテ、
即チ所得課稅最低限明治二十年三
百圓、大正二年四百圓、大正七年
五百圓、大正九年八百圓、大正十
五年千二百圓、昭和十四年千四、
戰時中ハ源泉課稅トシテ當初基礎
控除額年七百二十圓、次デ年六百
圓、現在年二千四百圓ノ基礎控除
トス、右之通りニシテ今ヤ政府ノ
豫想スル最低賃金五百圓ハ事實上
飢餓生死ノ一線ニシテ、戰時中血
汗ヲ捧ゲタル無辜ノ勤勞大衆
ニ對シ更ニ増稅ヲ以テ報ントスル
如キハ斷ジテ許スベカラザル所ナ
リ、當協會ハ最大讓歩ヲ以テ本件
基礎控除額ヲ月五百圓ニ引上セラ
レンコリヲ請願シ、之ニ對スル稅
ノ補填ハ閣下所得階級ノ徹底の課稅
ト國債費ノ削減ニ依ツテ充當セン
メラレンコトヲ要望仕候一斯ウ云
ウ書面ガ來テ居ルノデアリマシ
テ、勤勞大衆ニ對スル課稅ニ付テ
ハ非常ニ多勢ノ方カラ御話ニナリ
マシテ、御説明モアリマシタカラ
私モ了承ハ致シテ居リマスガ、兎
ニモ角ニモ勤勞大衆ガ斯ウ云フ考
ヘ方ヲ持ツテ居ルト云フコトニ對
シマシテハ、國家モ今更之ヲ廢

メル譯ニ行キマスマイシ、又廢メテ吳レロト云フノデモアリマセヌガ、ソコニ餘程政治上ノ考慮ノ餘地ガアルト思フノデアリマス、此ノ點ニ付テ如何デアリマスカ

○池田(勇)政府委員 勤勞所得税ノ百分ノ二ノ引上ゲハ、本年三月九日緊急勅令ノ後裁定ヲ仰ギマシテ基礎控除ノ引上ゲ、扶養家族、控除ノ引上ゲヲ致シマシタノト、環ラナシテ居ルノデゴザイマス、隨ヒマシテ昨年ノ勤勞所得者ノ負擔ト本年ノ勤勞所得者ノ負擔ト比ベルノガ今日ノ増税案ノ百分ノ二ヲ審議スル基本材料トナルト思フノデゴザイマス、昨年ノ勤勞所得者ト本年ノ増税後ノ負擔ヲ比ベマスト、所得階級ニ依ツテ餘程ノ區別ガゴザイマスルガ、五千圓程度ノ年收者ハ半分以下ニ相成ツテ居リマス、ダカラ非常ニ他ノ所得ト比ベマシテ輕減ニ極力努メタ次第デゴザイマス、又他面勤勞所得者ノ所得ハ大體ニ於テ昨年ノ三倍以上ニ相成ツテ居ルト思ツテ居リマス、我々役人モ七月ノ俸給改正令ニ依リマスト三、四倍ニ相成ルコトト思フノデゴザイマス、斯ウ云フ點ヲ考ヘマスト百分ノ二程度ノ増率ニ依ツテハ決シテ勤勞所得者ノ負擔ハ増大シテアルトハ考ヘテ居リマセヌ、他ノ所得者ノ引上ゲ狀況ヲ見タナラバ非常ニ勤勞所得者ハ低イノデゴザイマス、ソレカラ基礎控除ヲ五百圓ニト云フ御話

デアリマス、五百圓ハ何レモ最低生活費ノ問題デハゴザイマセヌ、生活ノ標準設計デゴザイマス、金融措置、所謂通貨政策ノ方カラ出タモノデゴザイマシテ、私ハ五百圓生活ト申シマシテモ、是ハ封鎖預金カラ引出サレルト云フコトモゴザイマスノデ、各人各様ニ相當生活ノ彈力性ガアルト思フノデゴザイマス、又本委員會デ私ハ勤勞所得三十四億圓ノ收入ハ大體一人當リ五千五百圓ノ年收ト計算シタト申上ゲマシタ、是ハ一家族ヲ持ツタ人ノミナラズ、子供サ

ン或ハ御嬢サンデ役所ノ雇、會社員等ニナツテ居ラレル方ノ俸給モ入レマシテ平均デゴザイマス、隨ツテ此ノ基礎控除ノ二百圓ヲ五百圓ニ致シマスト、我々ハ相當擔稅力アリト認メテ居ル、サウ云フカラ所得稅ハ徵ラナイコトニ相成リマス、又稅收入ノ方カラ申シマシテ、之ヲ五百圓ニ引上ゲマスト平年度デ申シマス四十億圓ノ勤勞所得稅ガ三十四億圓減ツテ參リマス、平均俸給ガ五千五百圓ノ計算デゴザイマスルカラ、五百圓ノ基礎控除ヲ致シマスト、六千圓ノ控除ニナリマス、サウスルト勤勞所得稅ハ殆ド徵レナイト云フコトニ相成リマスノデ、基礎控除五百圓ノ引上ゲハ財政收入カラ言ツテモ、又實際ノ問題カラ申シマシテモ私ハ問題ニナラヌト思ヒマス、勤勞所得ハ一萬圓トカ或ハ一萬五

千圓トカ申シテ居ラレマスガ、實際ノ勤勞所得ノ對象トナルモノハ、月三、四百圓位ガ相當ナ部分ヲ占メテ居ルト云フコトヲ御諒承願ヒタイト思ヒマス

○小川原委員 御考慮ナサル餘地ハアリマセヌカ、是ハ政治的ナ解決デス

○池田(勇)政府委員 私ハ事務當局デ屬僚デゴザイマス、主稅局長ト致シマシテ増稅案ヲ考ヘマシタ責任者トシテ之ヲ動カスコトハ他ノ所得者ニ非常ナ不公平ニ當リマスノデ、動カス氣持ハ持ツテ居リマセヌ

○小川原委員 増稅案ノ責任者トシテ御考ヘニナル時ハサウデアリマセウケレドモ、是ガ國家ノ大局カラ見テ其ノ方ガ大衆ノ叫ビデアラ、大衆ノ叫ビト云フモノハ取入レテヤラナケレテナラヌ、ソレガ民主的ナ稅ノ行キ方デアルトシマスト、是ハ別ニ其ノ責任者ダト云フ城壁ニ立籠ラナクテモ、扉ヲ開イテ話ガ出來ルヤウニ私ハ考ヘルノデアリマスガ、サウ云フ點餘地ハゴザイマセヌカ

○池田(勇)政府委員 政府提出ノ法律案ノ審議權ハ議會ニアルノデゴザイマス、事務局屬僚ガ如何ニ申シマシテモ是ハ何モナラナイコトデ、唯アナタ方ガ審議ヲナサル御參考ニ申上ゲテ居ル次第デゴザイマス、ソレヲ取入レル取入レナイハ議會竝ニ内閣ガ御相談ナス

ツカラ宜イト思ヒマス

○小川原委員 ソコマデノ話ニナレバ正面衝突デモ何デモセイト云フコトニナルノデ、ソシテ御答辯ヲ聽カウト思ツテ此ノ年寄ガ話ヲシテ居ルノデハゴザイマセヌ、問ト答辯トガ食違ヒノナイヤウニ御願ヒシマス、私ハ是デ終リマス

○吉米地委員長 ソレデハ之ヲ以テ通告ノアリマシタ質疑ハ全部終リマシタ、即チ質疑ハ終局致シマシタ、次會ハ議案全部ニ對スル討論ヲ行ヒ、討論終局ノ後直チニ議案全部ノ採決ヲ致シマス、次會開會日時ハ公報ヲ以テ御通知申上ゲマス、本日ハ之ヲ以テ散會致シマス

午後四時四十分散會

昭和二十一年十月二十三日印刷

昭和二十一年十月二十四日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局